アカデミック・ジャパニーズ
日本語表現ハンドブックシリーズ⑦

Academic Japanese Japanese Expressions Handbook Series ⑦

英語訳つき

日常会話で使う
慣用表現

佐々木瑞枝　監修
松田由美子・鈴木紀子　共著

はじめに

あなたは日本語の慣用表現をどのくらい知っていますか。まず、このテキストから知っている慣用表現を選んでみてください。案外知らないことに驚くのではありませんか。

次に自分の国の慣用表現と比較し、共通するものを選んでみましょう。慣用表現は人間の普遍的な一面をとらえていてどの言語にも共通するものもあれば、日本社会に特有の表現もあります。たとえば「一人相撲を取る」は相撲から、「先手を打つ」は囲碁や将棋から生まれた表現です。

皆さんは図書館で慣用表現の辞典を見て、あまりにもたくさんの言い回しがあるのに驚くのではありませんか。そして、その中から実際の日常会話で使われているものを選ぶのは大変なことにちがいありません。

慣用表現は、意味を丸暗記しても、それを使いこなせなければ自分のものになったとはいえません。本書では学習者の皆さんが、短い慣用表現を文章を書くときに使ったり、会話の中で使えるように、よく使われる表現を精選し、書き言葉と話し言葉の両方の例を出し、会話形式を中心とする練習問題を用意しました。また慣用表現にプラスの意味があるのか、マイナスの意味があるのか一目でわかるように、[＋]と[－]の記号を入れてあります。

[批判][不満][否定]といったマークも見逃さないでくださいね。これらは、皆さんが実際に慣用表現を使うときのコンパスのようなものです。たとえば「手を出す」を見ると、[－]の記号があり、そこには[否定]のマークが付けてあります。「手を出す」という表現は、いつもマイナスの意味をもって使われているのです。ですから決して「手を出してくれてありがとう」などと言ってはいけません。言われた相手は皮肉を言われたとしか思わないでしょうから。

この本の出版にあたって、アルク日本語出版編集部編集長の岡本江奈さん、編集部の工藤 弓さんには、慣用表現を選ぶ段階から相談に乗っていただきました。心よりお礼申し上げます。

2002年2月　　佐々木瑞枝

目　次

はじめに ……………………………………………………………3

この本を使う皆さんへ ……………………………………………5

慣用句：あ行 ………………………………………………………12

か行 ……………………………………………………………24

さ行 ……………………………………………………………41

た行 ……………………………………………………………51

な行 ……………………………………………………………60

は行 ……………………………………………………………67

ま行 ……………………………………………………………78

や行 ……………………………………………………………94

ら行 ……………………………………………………………99

わ行 ……………………………………………………………100

コラム

- あなたの「気」はどんな「気」？ ………………………48
- 「先を読んで」ね！ …………………………………………49
- 数　1から10まで ……………………………………………64
- 自動詞・他動詞の使い分けで意味に違いが出る！ ………65
- 類は友を呼ぶ－慣用表現の分類あれこれ ………………84
- この表現から日本人が見える！ …………………………102

索引 ………………………………………………………………104

この本を使う皆さんへ

慣用表現は、人の気持ちや行動の様子、あるいは物事の状態を特徴的に表す便利な表現です。慣用表現を使うことで、文章が生き生きとしたり、会話の中で話し手の気分や感情などを効果的に伝えることができます。

しかし一方で、一つひとつが独特の意味合いをもつことも多いため、使い方を間違えると、反対に相手の気分を悪くしたり、誤解されたりすることもあります。そうしたことが起こらないよう、本書では、それぞれの慣用表現についての特徴や注意点を、補助記号で示してあります。それぞれの記号の意味を知って、適切に使ってください。

1　慣用表現の意味合いを表す記号

記号	意味
＋	話し手が、対象となる人の行為や物事の状態に対して、基本的にいいと感じていることを表します。好意的だったり、いいと認めたりしている場合です。
－	話し手が、対象となる人の行為や物事の状態に対して、基本的によくないと判断したり感じたりしていることを表します。
±	特に、「いい」「よくない」といった特別の意味合いはありません。

特にはっきりした意味合いがあるものは、次の記号で示してあります。これらの記号がついている慣用表現は、**ある特定の他者を対象に直接使う場合は、気を付けなくてはならない**ことがあります。

記号	意味
否定	否定的だったり認めないという気持ちをもっていることを表します。
批判	批判の気持ちをもっていることを表します。
非難	非難の気持ちをもっていることを表します。
不満	不満の気持ちをもっていることを表します。
気分	自分自身が不安や心配で落ち着かない気分などの状態を表します。
強	状態や行為の様子を強調するために使います。

<例>

□ **開いた口がふさがらない**　［－］［非難］

物事のひどさに驚き、あきれること。
be dumbfounded (at an appalling situation)

「カラオケで7時間も歌ったんだって？　明日から試験だろう。開いた口がふさがらないよ」
×「先生、昨日、カラオケで7時間も歌ったそうですね。開いた口がふさがりませんよ」

※この表現は非難の意味合いがあるので、友だちなどごく親しい関係の人以外には使えません。

2　慣用表現の使い方を表す記号

第三者の行為などについて直接使うと、不自然になったり失礼になる場合があることを表します。たとえそれが好ましい行為や感情を意味する場合でも、注意してください。

日本語では、話し手が、目上の人やあまり親しくない相手の行為や感情などについて、それを直接評価したり描写したりするのを避ける傾向があるようです。慣用表現に関しても、同じことが言えます。下の例で考えてみましょう。

<例>

□ **気が利く**　［＋］

その時の状況をよく見て適切な判断をし、小さないい結果を生む。
clever, considerate

「課長、お疲れさまでした。はい、コーヒー」「お、丸井、気が利くな」
×「ヤンさん、コーヒー、どう？」「先生、気が利きますね」

※2番目の例のように使うと、下の者が上の者を評価したような意味合いが出て、いくらそれがよい行為でも、失礼に聞こえます。

他人の行為や状況に対して使うことができますが、文法的に直接言い切る形では使えないことを表します。「～みたいだ」「～らしい」「～そうだ」などを加えるといい場合があります。

<例>

□ **鼻が高い**　［＋］

得意な気持ち。誇らしいと思うこと。
be proud

「新人文学賞だってね。優秀な学生を持って僕も鼻が高いよ」
c. f.　×「ゼミの学生が新人文学賞をとって、東教授も鼻が高いよ」
○「ゼミの学生が新人文学賞をとって、東教授も鼻が高いだろう」

3　例文の種類を表す記号

　書き言葉で使われる例

会話で使われる例

4　練習問題について

各ページに練習問題があります。文を読んで、左右2ページの中にある慣用表現の中から適切なものを選んでください。答は次のページにあります。基本的には、各問題の答は1つですが、2つ当てはまる場合もあります。

5　その他

わかりにくい言葉や外来語、最近よく使われる俗語には、英語訳や説明などを付けました。

To the users of this book

Idiomatic expressions are handy for characterizing people's feelings or behavior, and the state or appearance of things. Using them will make your writing more lively, and allow you to effectively convey your feelings and impressions in conversation.

However, it is important to realize that many idiomatic expressions have a particular nuance or connotation, so incorrectly using them might cause misunderstandings or even offend the person to whom you are speaking or writing. In order that you can avoid making such mistakes, special symbols are used in this book to indicate the attributes and points of caution of each expression. Be sure to go over the meanings of the symbols so that you can learn the proper usage of each expression.

1 Symbols indicating nuance

[＋] This symbol indicates that the expression is used to convey a generally **positive impression** of the subject's behavior or condition. The speaker has a favorable attitude toward the subject, thinks it is good, etc.

[－] This symbol indicates that the expression is used to convey a generally **negative impression** of the subject's behavior or condition.

[±] This symbol indicates that the expression is neutral in connotation.

Expressions with a particularly strong connotation are marked with one of the following symbols. **Be careful when you use an expression marked with one of these symbols to directly refer to a particular person.**

[否定] The expression conveys negation or disapproval.
[批判] The expression conveys criticism.
[非難] The expression conveys condemnation.
[不満] The expression conveys dissatisfaction.
[気分] The expression conveys unease due to anxiety or worry.
[強] The expression is used to emphasize the behavior or condition described.

<Example>

□ 開いた口がふさがらない [－] [非難]

物事のひどさに驚き、あきれること。
be dumbfounded (at an appalling situation)

☹「カラオケで7時間も歌ったんだって？ 明日から試験だろう。開いた口がふさがらないよ」

×「先生、昨日、カラオケで7時間も歌ったそうですね。開いた口がふさがりませんよ」

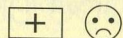
＊ This expression conveys condemnation, so use it only for friends and other people with whom you have a very close relationship.

2 Symbols indicating usage

☹ This symbol indicates expressions that can sound unnatural or rude if directly used to describe the behavior of a third person. Even if your intention is to say something positive about the subject's behavior or feelings, you still need to exercise caution.

In Japanese, speakers tend to avoid making direct evaluations or descriptions of the behavior and feelings of superiors or persons with whom they are not on familiar terms. This principle applies to idiomatic expressions as well. Consider the following example.

<Example>

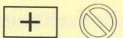
□ 気が利く(きき)

その時の状況をよく見て適切な判断をし、小さないい結果を生む。
clever, considerate

「課長、お疲れさまでした。はい、コーヒー」「お、丸井、気が利くな」
×「ヤンさん、コーヒー、どう？」「先生、気が利きますね」

* This expression sounds impudent when used by a subordinate to directly comment on a superior's action, even if the subordinate's intention was to praise, as was the case in the second example above.

Expressions marked with this symbol can be used to describe the behavior or condition of others, but in that case they should not be used in directly assertive grammatical patterns. Therefore, when using them to describe others, you may need to add a suppositional suffix such as ―みたいだ, ―らしい, or ―そうだ.

<Example>

□ 鼻が高い(はな たか)

得意な気持ち。誇らしいと思うこと。
be proud

「新人文学賞だってね。優秀(ゆうしゅう)な学生を持って僕も鼻が高いよ」
c. f. ×「ゼミの学生が新人文学賞をとって、東教授も鼻が高いよ」
○「ゼミの学生が新人文学賞をとって、東教授も鼻が高いだろう」

3 Symbols indicating type of example

 Example of the expression used in writing.

Example of the expression used in conversation.

4 Practice problems

A practice problem is provided at the bottom of every page. Select the appropriate expression from those appearing on the left or right page to fill in the blank. In most problems, only one of the expressions is correct, but in some cases two expressions may be appropriate.

5 Explanations

Explanations or English translations are provided for difficult terms, words of foreign origin, and recent slang expressions that appear in the examples.

□ 開いた口がふさがらない　ー　非難

物事のひどさに驚き、あきれること。
be dumbfounded (at an appalling situation)

- ✎ 警察官が飲酒運転していたとは、開いた口がふさがらない。
- 「また同じ失敗？　開いた口がふさがらないよ」

□ 足が棒になる／足を棒にする　ー

(何かの目的のために)長時間行動してとても疲れること。
be extremely tired from walking around a lot (for a particular purpose)

- ✎ 営業の仕事は、足が棒になるくらい外回りをしなければならない。
- 「丸井君、どこ行ってたの？　みんな、足を棒にして捜したんだよ」

□ 味もそっけもない　ー　不満

味わいや面白みがなくつまらない。
tasteless, dull

- ✎ 豆腐を初めて食べたときは、味もそっけもない食べ物だと思った。
- 「一人暮らしは気楽でいいが、一人の食事は味もそっけもないよ」

練習　①母：一郎からのメール、「金送れ」……これだけよ。(　　　)わねえ。
父：留学して初めてのメールが？　開いた口がふさがらないな。

□ 頭が上がらない　ー　否定

相手に負い目や恩義があって対等になれない。
feel indebted, can't hold up one's head (to someone)

- ✎ 大学では学生に厳しい南教授も、奥さんには頭が上がらないらしい。
- 「クラブの先輩には頭が上がらなくて、酒の誘いは断れないよ」

□ 頭が固い　　否定

考え方が一定の傾向に固まっていて、自由な発想ができない。
have a stiff view of things, be incapable of flexible thinking

- ✎ このポスターは頭が固いお役所が作ったにしてはユーモアがある。
- 「中学生がデートなんて10年早い」「頭が固いよ、お父さん」

□ 頭に入れる／頭に入る　±

後から思い出して使えるように知識などを覚える。
learn, memorize

- ✎ 行き先の国の文化や習慣を頭に入れて海外旅行をするといい。
- 「カーナビがないから、地図は頭に入れておかなきゃ」

練習　②学生A：え、また、先輩の引っ越し手伝うの？
学生B：彼女を紹介してもらったから、先輩には(　　　)んだ。

□ 頭にくる　− 不満

「腹が立つ(p.71)」と同じ意味だが、もっとくだけた言い方。
get angry (same meaning as 腹が立つ(p.71), but more colloquial)

「きれる」とは、頭にきて感情が抑えられなくなることをいう。
「『君は女性の割には仕事ができるね』だって、頭にきちゃう」

□ 頭を下げる／頭が下がる　＋

何とか思いどおりにしようとして頼む。／他人の素晴らしい行為に対して心から尊敬の気持ちをもつ。
plead (for acceptance of a request)/feel deep respect, take off one's hat to

派閥の長老自ら頭を下げて、首相選の出馬を頼んだらしい。
「ヤンさん、休日も実験だって。研究熱心だね。頭が下がるよ」

□ 頭を冷やす　±

興奮した状態を静め、元の落ち着いた状態に戻す。
calm down, regain one's composure

討論では、頭を冷やすための休憩を途中で入れたほうがいい。
「さっきはごめん。頭を冷やして考えたら、僕も少し言いすぎた」

練習　〈前ページの答〉　①味もそっけもない　②頭が上がらない
① 昨日のデート、楽しくて時間のたつのが(　　　　)だった。

□ あっという間　強

とても短い時間。一瞬のうちに。
in an instant

株価暴落のニュースは、あっという間に広がった。
「日本で過ごした3年間は、本当にあっという間だったよ」

□ 当てが外れる　− 不満

予想していた通りの結果にならない。
be disappointed

今年の冷夏には、ビール会社も当てが外れたことだろう。
「冬のボーナスはなし？　車を買おうと思ったけど当てが外れた」

□ 後味が悪い　− 不満

物事が期待した終わり方をしなかったため、後に嫌な気持ちが残る。
feel uncomfortable (after an unpleasant occurrence)

ちょっとしたことでけんかをして、後味が悪い。
「彼と別れたって？」「うん、よく話し合ったから後味悪くないよ」

練習　② 女性A：彼ね、ほかの人とデートしたのよ！　(　　　　)わ！
女性B：ちょっと(　　　　)ほうがいいんじゃない？

□ いい顔をしない　[一] [不満]

相手の行為に対して好意的ではない。賛成の意を示さない。
look displeased

実験室の時間外使用に対して、学生課はいい顔をしなかった。

「僕は大学院まで進みたいけど、親がいい顔をしないんだ」

□ 行き当たりばったり　[一] [批判]

成り行きまかせで計画性がない。
haphazardly, without a plan

大きなイベントは行き当たりばったりではできない。

「旅行は行き当たりばったりのほうが、危険はあるけど面白いよ」

□ 息が切れる　[一] [否定]

途中で力がなくなり、それ以上続けられなくなる。
run out of steam, become too drained to continue

大学生活は長いから、息が切れないように過ごすことが大切だ。

「最初からがんばりすぎて、息が切れた」

練習 〈前ページの答〉 ①あっという間　②頭にくる・頭を冷やす
① 高級店では、客が自由に商品を手に取って見るのに(　　　　)。

□ 息が詰まる　[一] [気分]

息ができなくなるような緊張が続く。
constrained, tense

野球の決勝では、息が詰まるような熱戦の末、日本が負けた。

「コンパに顧問の先生が出席すると、少し息が詰まるよね」

□ 意地が悪い　[一] [批判]

人が困るようなことを言ったりしたりする。
spiteful

先生は学生のために注意するのだ。意地が悪いわけではない。

「うそって知ってて教えてくれないなんて、意地悪ね」

注)意地悪：会話でよく使う表現。

□ 意地になる　[一] [否定]

反対されたり無理だと知っていたりして、なお自分の考えや行動を通そうとすること。
obstinate, become contentious

研究者同士が意地になって開発の早さを競っているようだ。

「北先生、南教授にできないと言われて意地になっているんだ」

練習 ② 母：お父さんどうしたの？　もう2時間もゲームやってるじゃない。
息子：僕に負けたから(　　　　)ているんだ。

□ 一か八か（いちばち）　強

うまくいくかどうかわからないが、とにかくやってみる。

take a chance

✎ 試合終了時間も迫（せま）り、監督（かんとく）は一か八かの大勝負をすることにした。

☺「先輩、この方法で試すんですか？」「一か八かだ。やってみよう」

□ いても立（た）ってもいられない　±　－

落ち着かずじっとしていられない。

be unable to relax

✎ 事故の知らせに、家族はいても立ってもいられない様子だった。

☺「明日の学会発表が心配で、いても立ってもいられないよ」

□ 嫌（いや）というほど　強

飽（あ）きるほどまで。ひどく。

until one can take no more, too much

✎ 新幹線の故障で、乗客は暑い車内で嫌というほど待たされた。

☺「ああ、嫌というほど焼肉食べたい！」「ダイエットはつらいね」

練習　〈前ページの答〉　①いい顔をしない　②意地（いじ）になって

①（　　　　）、持っていたお金を全部かけたが、結局負けてしまった。

□ 上（うえ）には上（うえ）がある／上（うえ）には上（うえ）がいる

素晴（すば）らしいと思っても、それより上が必ずある／いるものだ。

There's always something/someone better.

✎ 新婚旅行に船で世界一周だなんて、上には上がいるものだ。

☺「彼女、７カ国語がペラペラなの？　上には上がいるものだね」

□ 受（う）けがいい／受（う）けが悪（わる）い

人々に好意をもって受け入れられる。気に入られる。／
受け入れられない。気に入られない。

be popular/unpopular

✎ コンビニでは、消費者に受けが悪い商品はすぐに回収される。

☺「西さんは頭もいいし教授に受けがいいから、助手には適任だよ」

□ 裏目（うらめ）に出（で）る　－　否定

いい結果を出そうと思ってしたことが、反対によくない結果を生む。

have the opposite effect, backfire

✎ バブル期に事業の拡大を図（はか）り、裏目に出て倒産した会社が多い。

☺「高学歴が裏目に出て、就職できない場合もあるんだって」

注）バブル期：1980年代を中心に日本経済が一時的に急上昇した時期。

練習　② 女性Ａ：お子さんの出産予定日、今日なんだそうですね。
男性Ｂ：うん。おかげで朝から（　　　　）んだ。

□ うんともすんとも 強

何も言わない様子。

silent, not say a word

うんともすんとも反応がない聴衆(ちょうしゅう)に、講演者は少しいらついた。

「もしもし……。あれ？　うんともすんとも言わない。気持ち悪い」

□ 縁(えん)がある／縁(えん)がない ＋／±

物事や人と結(むす)び付ける不思議(ふしぎ)な力がある。／ない。

have/not have a special relationship

今まで病気とは縁がなかったが、昨年、２カ月も入院した。

「このたびご縁がありまして、こちらの学校に赴任(ふにん)いたしました」

注)下線の表現は、あいさつやスピーチなどでよく使う。

□ 多(おお)かれ少(すく)なかれ 強

多くても少なくても。どちらにしろ。

more or less

癖(くせ)というのは、多かれ少なかれ、だれにでもあるものだ。

「付き合ってる人の影響って受けるよね」「多かれ少なかれね」

練習 〈前ページの答〉 ①一か八か　②いても立ってもいられない

①女性：買おうと思ってた靴、売れちゃった。(　　　)たのね。

□ 大(おお)きなお世話(せわ) − 不満

余計なおせっかい。してほしくないこと。

meddlesome, uncalled for

当人は親切(しんせつ)なつもりでも、受け手には大きなお世話のこともある。

「だれと映画に行こうと勝手でしょ。大きなお世話よ」

□ 大(おお)きな顔(かお)をする ① − 批判 ② ±

①自分が偉(えら)い者であるような、いばった顔つきや態度をとること。

②自信をもって堂々(どうどう)としている様子。

① give oneself airs　② stand proud and confident

選挙に当選したとたん、大きな顔をする政治家もいる。

「悪いことはしてないんだから、大きな顔をしていればいいよ」

□ 大目(おおめ)に見(み)る ±

失敗や欠点などをあまり強く責(せ)めないで、まあそれでいいとする。

overlook, tolerate (someone's failure or mistake)

入学試験の出題ミスは重大問題だ。大目に見ることはできない。

「南教授、厳(きび)しいね。５分の遅刻(ちこく)くらい大目に見てほしいよ」

練習 ②男性：急いでいたので、つい……。(　　　)ていただけませんか。

警官：何言ってるんですか。30キロもスピードオーバーなんですよ。

□ おせっかいをやく　[−] [批判]

必要以上に世話を焼いたり、意見を言ったりする。
meddle

✎ どこの国でもおせっかいをやく人がいるものだ。

☺「山田、友だちの恋愛問題におせっかいをやくのはやめろよ」

□ 遅かれ早かれ　[強]

遅くても早くても。どちらにしても。
sooner or later

✎ 遅かれ早かれ衆議院は解散になることだろう。

☺「遅かれ早かれ知られるんだから、自分から言っちゃったら？」

□ おだてに乗る　[−]

褒められていい気分になり、深く考えずに行動する。
be carried away by flattery

✎「消費者は神様だ」というおだてに乗って、消費ブームが起きた。

☺「英語が上手だなんておだてに乗ったばかりに、論文の英訳頼まれちゃった」

練習　〈前ページの答〉 ①縁がなかっ　②大目に見
① 今の世の中は、電話が使えないと(　　　)の状態になる。

□ お手上げ　[−] [否定]

行き詰まってどうしようもなくなる。
give up, come to a deadlock

✎ 小学5年生レベルの計算にお手上げ！　進む大学生の学力低下！(新聞の見出し)

☺「サーバーの故障でパソコン使えなくて、お手上げ状態なんだ」

□ 思いもよらない　[±]

まったく予測したり想像したりできない。
totally unexpected

✎ 思いもよらないことに、今回の知事選では40代の新人が当選した。

☺「おとなしかった彼が俳優になるなんて、思いもよらなかったよ」

□ 親の脛をかじる　

生活費や学費を親から出してもらう。
sponge off one's parents

✎ 親の脛をかじり同居する独身者を、パラサイトシングルという。

☺「おれの家、親の脛をかじってるの、3人なんだ」「お父さん大変ね」

練習　② 娘：お父さんって世界一ステキでやさしいわ。
父：何が欲しいか知らないけど、そんな(　　　)ないよ。

□ 顔(かお)に出(で)る　＋　－

考えていることや感情が自然に表情に現れる。
show on one's face

- 日本人は感情が顔に出にくく、それが誤解(ごかい)の原因にもなる。
- 「北先生って何でも顔に出るから、隠し事ができないわね」

□ 肩(かた)にかかる　±

重い責任などを引き受けなければならなくなる。
shoulder a heavy responsibility

- 高齢化(こうれいか)社会では、若年層(じゃくねんそう)の肩にかかる負担(ふたん)はさらに大きくなる。
- 「成人おめでとう。21世紀は皆さんの肩にかかっているのです」

□ 肩(かた)の荷(に)を下(お)ろす／肩(かた)の荷(に)が下(お)りる　＋

重い責任が終わってほっとする様子。
take/be a load off one's shoulders

- 教授は退官で肩の荷を下ろし、これからは趣味に生きるそうだ。
- 「ふう、教授に頼まれた翻訳終わり！　これで肩の荷が下りるよ」

練習　〈前ページの答〉 ①お手上(てあ)げ　②おだてに乗ら
① 男性：木村はいつもカオリさんの(　　　　)な。実は好きなんだろ？

□ 肩身(かたみ)が狭(せま)い　－　不満

他人に比べて劣(おと)っていると感じ、それを恥(は)ずかしく思う。
feel small

- 昔、女性の大学教授は少数で、肩身が狭い思いをしたらしい。
- 「今は友だちの家に住ませてもらっているから、肩身が狭くて」

□ 肩(かた)を落(お)とす　－　気分

とてもがっかりして気力がなくなる。
feel very discouraged

- 選挙で数字の伸びなかった野党(やとう)の党首は、肩を落としていた。
- 「強気(つよき)の南教授も、今度の失敗には肩を落としていたよ」

□ 肩(かた)をもつ　＋

人や組織(そしき)の味方(みかた)をしたり支持したりする。
support, take sides with

- 弁護士(べんごし)は、依頼人(いらいにん)がだれであれ、その人の肩をもつのが仕事だ。
- 「丸井、同じミス、3回目だぞ。これじゃ、もう肩をもてないよ」

練習　② 女性Ａ：どうしたの？　元気ないわね。
女性Ｂ：やっぱり(　　　　)てた？　彼とけんかしちゃって。

□ かちんとくる　[−] [不満]

相手の言ったことなどにすぐ反応して気分を悪くすること。

be sorely offended

- 大臣(だいじん)も、記者たちの失礼な質問にはかちんときたようだ。
- 「課長の『新人のくせに』っていう口癖(くちぐせ)、かちんとくるよね」

□ 勝手(かって)が違(ちが)う　[−] [否定]

今まで慣れてきた方法や知識と違って、対応に困る。

not the way one is accustomed to

- 日本に来たばかりの留学生は、勝手が違って戸惑(とまど)うことも多いはずだ。
- 「新しい携帯(けいたい)、前のと勝手が違って使いにくいのよ」

□ 柄(がら)にもない　[±]

その人にふさわしくない。似つかわしくない。

not in one's style, be out of character

- いつも強気(つよき)の南教授が、教授会では柄にもなく最初から譲歩(じょうほ)した。
- 「柄にもなく彼女に花をあげたものだから、逆に怪(あや)しまれちゃった」

練習　〈前ページの答〉　①肩(かた)をもつ　②顔に出

① 助手：旅行は好きだが、教授と一緒の学会出張は(　　　)。

□ 気(き)がある／気(き)がない　[+] ／ [−] [否定]

興味や関心をもつ。恋心(こいごころ)を抱く。／興味や関心をもたない。

have/not have an interest in

- 丸井君はナオミさんに気があるらしく、見合いに乗り気ではない。
- 「学園祭に演劇やるんだって？　みんなは気がないみたいだけど……」

□ 気(き)が重(おも)い　[−] [気分]

自分に直接関係のあるよくない結果が予想されて、気持ちが晴れない。

heavy-hearted, be down in the dumps

- リストラは、される側はもちろん、する側も気が重いものだ。
- 「また遅刻(ちこく)しちゃった。注意されると思うと気が重いな」

注）リストラ："restructuring" = layoffs

□ 気(き)が利(き)く　[+]

そのときの状況をよく見て適切な判断をし、小さないい結果を生む。

clever, considerate

- 気が利いたアイデア一つで会社をおこした人もいるそうだ。
- 「お疲れさまでした。はい、コーヒー」「丸井、気が利くな」

練習　② 女性Ａ：今度の助手、女性にお茶入れさせるのよ。

女性Ｂ：そうそう。(　　　)わよね。

□ 気が気でない（気が気じゃない）
心配だったり気に掛かったりして落ち着かない。

be worked up with anxiety

新幹線が停電で遅れ、乗客は気が気でないようだった。

「昨日のゼミ、討論が口論になって、気が気じゃなかったよ」

□ 気が知れない
相手がどういうつもりか気持ちがわからない。

beyond one's comprehension

子供を車に置いたまま、パチンコをする親の気が知れない。

「先生を１時間も待たせるなんて、小林君の気が知れないよ」

□ 気が進まない
したくないと思う。乗り気ではない。

unwilling, reluctant

日本のサラリーマン社会では、気が進まない誘いでも断れない。

「明日のパーティーだけど、気が進まないんだ。悪いけどパス」

練習 〈前ページの答〉 ①気が重い　②かちんとくる

①男性：月収20万なのに外車を買うなんて、何考えてんだ。(　　　)よ。

□ 気が済む
やりたいことを終えて、不満やいらいらした気持ちがなくなる。

feel satisfied

テレビの24時間討論番組は、参加者の気が済むまで討論する。

「今回は力が入っているね。気が済むまでやってみたまえ」

□ 気が小さい
臆病だったり小さいことを気にしたりする性格。

timid

思い切った改革を進めるには、気が小さい人物では無理だ。

「北先生、君の言ったことを気にしてたよ。案外気が小さいね」

□ 気が強い／気が弱い
＋　否定／－　否定

気性が強く自信もある。／気性が弱く自信もない。

strong-minded/weak-willed

美人で気が強く頭がいい女性は、今も昔も物語の主人公になる。

「どうせ不合格だなんて、そんな気が弱いこと言わないで！」

練習 ②女性Ａ：ふん！　課長なんてダサくて女にもてない、ただのオヤジよ！

男性Ｂ：言いたいことを言って(　　　)んだ？

□ 気が短い／気が長い　[−] [否定] ／ [+] [否定]

思い通りにいかずいらいらする気持ちを我慢できない。／我慢できる。

short-tempered/patient

✎ この研究は時間も忍耐も必要だ。気が短い人には向かない。

「よく考えてお返事を……」「そんな気が長いこと言わないで」

□ 気が向く　[+]

自然に何かをする気になること。

feel inclined (to do something)

✎ 南教授は、以前は気が向けば５時間も続けて講義をしたそうだ。

「気が向いたら連絡してよ。飲み会ならいつでもOKさ」

□ 機嫌が直る　[+]

怒りや腹立ちの気持ちがおさまり、気分のいい状態になる。

get back in a good mood

✎ 一方的な報道に、首相は一日中機嫌が直らないようだった。

「機嫌が直ったみたいだね。いきなり泣き出してびっくりしたよ」

練習　〈前ページの答〉 ①気が知れない　②気が済

① 彼は(　　　)て、すぐに怒り出す。

□ 機嫌を取る　[−] [否定]

自分の利益のために、相手が喜ぶようなことをする。

humor (someone for one's benefit), butter up

✎ 政治家は、選挙前になると有権者の機嫌を取る。

「花束！　彼女に？」「最近論文で忙しいから……ご機嫌取らなきゃ」

□ 気心が知れる　

相手と親しく、性格や好みなどをよく知っている。

familiar, trusted

✎ いくら気心が知れた仲でも、言っていい事と悪い事がある。

「ここは気心が知れてる店だから、遠慮しないで飲んでくれよ」

□ 気に食わない　[−] [不満]

あるものや、だれかの行為が好きになれない。

be displeased with

✎ 気に食わない客でも、うまく対応しなければ営業はできない。

「この靴、デザインはいいけど、色がどうも気に食わないんだ」

練習　② 男性A：北先生、南教授に対してはいつもイエスマンだよなあ。

男性B：まったく！　(　　　)てばかりいるよな。

□ 気にする　[－] [気分]

あることに対する不安や心配の気持ちが、頭から離れず、意識する。

worry, fret over

最近の教師は、校長やPTAの評価ばかり気にする傾向がある。

「丸井君、失敗は気にしないで思うようにやっていいよ」

□ 気になる　① [－] [気分] ② [±] ⊘

①あることが心配だったりして、そこから気持ちが離れない。
②特定の人に関心をもつ。特に異性に対して。

① be worried by
② be interested in (a certain person, especially one of the opposite sex)

他人の批判は気にするなと言われても、やはり気になるものだ。

「先輩、新入部員のゆりさんのことが気になってるみたいですね」

□ 気のせい　[±]

何かを感じているが、それが実際ではないこと。

be just one's imagination

自分の下手な外国語を笑われていると思うのは、たいてい気のせいだ。

「あれ？　だれか来たと思ったけど、気のせいかな？」

練習　〈前ページの答〉 ①気が短く　②機嫌を取っ
① 知らない人から花束が届くなんて、うれしいというより(　　　)。

□ きまりが悪い　[－] [気分]

失敗した後など、なんとなく恥ずかしい。

feel embarrassed, feel awkward

日本人はきまりが悪いときに笑ってごまかすことがある。

「丸井、昨日飲んで暴れただろ」「ええ、きまり悪くて……」
注)きまり悪い：会話でよく使う表現。

□ 気味が悪い　[－] [気分]

相手や状況に対して、理解できない不安や居心地の悪さを感じること。

feel uneasy, feel weird

夜、暗い道を一人で歩くとき、後ろに人がいると気味が悪いものだ。

「北先生がおごってくれるなんて、何か気味が悪いですね」

□ 決めてかかる　[－] [非難]

実はまだ確かではないことを、確かだと思い込んでしまう。

assume

重要参考人を犯人だと決めてかかった報道は、間違いだった。

「金髪に染めてるからって、不良だって決めてかからないでよ」

練習　② 女性A：彼と同じゼミなのも、ふられたときには問題あるよね。
女性B：うん。顔を合わせるの(　　　)し、その後も気になるしね。

□ 切り(き)がない

－ 否定

①終わりがない。やめられない。
②行為(こうい)をそのまま続けていても意味がない。無駄(むだ)だ。
① endless　② serve no purpose

家賃7万円で通勤1時間。欲を言えば切りがないのでここにした。
「失敗を後悔(こうかい)しても切りがない。それより解決方法を考えよう」

□ 口(くち)がうまい

－ 批判

相手を表面的に褒(ほ)めたりして、いい気分にさせたりする。
be a smooth talker

褒めるのを礼儀(れいぎ)だと考える国もあれば、口がうまいと考える国もある。
「きれいな目だね」「口がうまいわね。ほんとに日本人なの？」

□ 口(くち)が重(おも)い

－ 否定

黙(だま)っていて、話をしようとしないこと。また、そういう性格。
reticent

作品の印象と違って、実際には口の重い作家が意外に多い。
「南先生、普段(ふだん)は口が重いけど、話し出すと止まらないんだ」

練習 〈前ページの答〉①気味(きみ)が悪い　②きまり(が)悪い
① 女性が3人も集まると、おしゃべりは(　　　)ようだ。

□ 口(くち)が堅(かた)い

＋ ☹

ほかの人に言ってはいけないことを決して言わないでおくこと。
tight-lipped, be able to keep a secret

仕事が丁寧(ていねい)で口が堅い——こんな人物は秘書として最適だ。
「これ、絶対内緒(ないしょ)だよ」「大丈夫。おれ、口が堅いから」

□ 口(くち)が軽(かる)い

－ 批判

おしゃべりで、言ってはいけないことまですぐ話してしまう。
talkative, be a blabbermouth

女性のほうが口が軽いというのが通説だが、そうとも限らない。
「ミカさんって、歩く宣伝(せんでん)カーよ」「そんなに口が軽いの？」

□ 口(くち)がすべる

－ 否定

言ってはいけないとされたことをつい話してしまう。
let slip

首脳(しゅのう)レベルの会談では、口がすべっての失言(しつげん)は許されない。
「つい口がすべって言っちゃったけど、まずかったかな」

練習 ② 女性A：彼、意外と(　　　)から、話さないほうがいいよ。
女性B：え？ 本当？ もう話しちゃった。

□ 見当(けんとう)をつける／見当(けんとう)がつく ±

大体こうだろうと予想する。／予想できる。

guess, estimate/can guess, can estimate

出口調査の数字で、だれが当選するかは大体見当がつくらしい。

「2時間くらいと見当をつけたけど、渋滞(じゅうたい)で4時間かかっちゃった」

□ 声(こえ)を掛(か)ける／声(こえ)が掛(か)かる

何かに誘う。／いい条件で誘われたり頼まれたりする。

call, invite/be invited, be recommended (for a good position)

やり手の角川さんは次期営業部長の声が掛かっている。

「アリさんの送別会をするなら、私にも声を掛けてくださいね」

□ 心(こころ)に掛(か)ける

ある人やものに好意的な関心をもつこと。

give attention to

S社の初代社長は、社員の家族にも心を掛けていた人物だった。

「いつも、お心に掛けていただいてありがとうございます」

練習 〈前ページの答〉 ①首をひねっ ②愚痴(ぐち)をこぼす

①外国で受けた親切(しんせつ)というのは(　　　)ものだ。

□ 心(こころ)に残(のこ)る

強い印象を受け、忘れられない。

impressive, unforgettable

あの映画のラストシーンは心に残る名場面の一つだ。

「町の景色、皆さまとの交流は、ずっと心に残るでしょう」

注）：町を去るときのスピーチ。

□ 心(こころ)を入(い)れ替(か)える

物事がよい方向に進むよう、今までの気持ちや態度を変える。

turn over a new leaf

欠陥商品の販売を続けていたとは！ 会社は心を入れ替えてほしい。

「心を入れ替えて勉強しよう」「その言葉、もう百回くらい聞いたよ」

□ 心(こころ)を配(くば)る

相手のことを考えて細かいことに注意する。

show consideration

マスコミは、報道の際、被害者の心情にも心を配るべきだ。

「保健管理センターの林先生は、本当に学生に心を配ってくれるね」

練習 ②男性A：サハラ砂漠(さばく)の広さって知ってる？

男性B：えー、(　　　)ないよ。

□ 口を出す　－　批判

本当は自分が意見を言うべきではない状況で意見を言う。

butt in (with one's opinion)

子供が自立しようとしているときに、親が口を出すのはよくない。

「これは文学部の問題だから、経済学部は口を出さないで！」

□ 食ってかかる　－　不満

激しい言い方や態度で反論したり抗議したりする。

flare up

国会では、発言者に食ってかかることも多く、つかみ合いさえある。

「北先生が今日は珍しく南教授に食ってかかってたな」

□ 苦にする／苦になる　－　気分

あることを気にしたり心配したりして苦しむ。／心が重くなる。

worry about, be distressed by

学校側は、いじめを苦にしての自殺ではないと言っている。

「ミカさんのためなら、資料整理の手伝いくらい苦になりません」

練習　〈前ページの答〉①切りがない　②口が軽い

①まじめな彼がなぜあんな事件を起こしたのか、周囲は(　　　)ている。

□ 首をひねる　－　否定

不思議だ、疑問だと思う様子。また、賛成できないと思う様子。

look baffled, look unconvinced

最近、「何となく」といった、首をひねりたくなる犯罪動機が多い。

「教授、データを見て首をひねっていたけど、実験は失敗かな」

□ 愚痴をこぼす　－　不満

言っても仕方がない不満などを話す。

complain, gripe

サラリーマンは嫌なことがあると、酒を飲んで愚痴をこぼす。

「チャットで愚痴をこぼしたら、ストレス発散できたよ」

□ 計算に入れる　±

後で困らないように初めから考えに入れておく。

take into consideration

企業はごみ処理のことを計算に入れて商品を開発すべきだ。

「雨が降ることも計算に入れて、早めに行ったほうがいいよ」

練習　②学生A：うちのアパート、通学するのに電車で1時間もかかるんだ。

学生B：(　　　)なよ。ヤンさんは自転車で毎日2時間かけてるぞ。

□ 腰が重い
こし　おも

− 否定

始めなければならないのに、なかなか行動しない。また、そういう性格。

be slow to act

企業は経費の掛かる環境対策に腰が重いだろうが、当然の義務だ。

「試験勉強したくない。嫌なことには腰が重くなるよね」

□ 事によると
こと

強

もしかすると。場合によっては。

possibly, depending on the circumstances

事によると、住民の反対でダム建設は中止になるかもしれない。

「では、明日7時に。事によると、少し遅れるかもしれませんが」

□ 言葉を濁す
ことば　にご

− 否定

言いにくいことを言うとき、はっきりとした直接的な表現を避ける。

say ambiguously

真相を尋ねても、担当者は言葉を濁すばかりだった。（尋＝たず）

「小林さん、言葉を濁していたけど、研究がうまくいってないみたい」

練習　〈前ページの答〉 ①心に残る ②見当がつか

① 女性：会議の予定は2時間だけど、(　　　　　)、もっとかかるかもね。

□ 先が見える
さき　み

① + ② − 否定

①これから先の事態が予想できる。
②将来それほどいい状況にならない、あるいは、すぐに限界がくることが予想できる。

① be in sight of one's goal ② see no hope, see the end is near

難工事もようやく先が見え、関係者もほっとしていることだろう。

「不況で会社も先が見えてきたし、転職しようかなあ」

□ 先を越す
さき　こ

相手が何かする前に先にして、優位に立つ。

take the initiative, get ahead of

ITの分野では、日本はアメリカに先を越された感がある。

「この遺伝子研究だけは、T大研究室の先を越したいんだ」

□ 先を読む
さき　よ

今するべきことを決めるために先の事態を予測する。

think ahead

現代社会は、先を読みたくてもなかなか読めない状況だ。

「目先のことよりも先を読んで、今は貯金しておきましょう」（目先＝めさき）

練習　② 学生A：引っ越しの準備、そろそろなんだけど、(　　　　　)てね……。（引＝ひ、越＝こ）
学生B：国際交流会館は1年しかいられないから、大変だね。

□ 察(さっ)しがつく　±

直接説明されなくてもその場の状況や状態が理解できる。

can guess, can figure out

不景気で注文が減ることは、経営者側にも察しがついたはずだ。

「近ごろの君の様子を見たら察しがつくよ。彼女ができたんだろ」

□ 鯖(さば)を読(よ)む　

自分の利益のために本当の数を言わず、うその数を言う。

cheat in counting, fudge the numbers

宗教団体の全国大会の動員数は、鯖を読んで発表したらしい。

「あの歌手が21歳だって？　絶対鯖を読んでいるね、あれは！」

□ 差(さ)をつける／差(さ)がつく　

二つの間で程度や力の差を表す。／差が表れる。

gain a lead on/have a gap

日本の社会では、学歴によって昇進に差がつくことがある。

「山下さん、今年論文をもう10本書いたって。差をつけられたな」

練習　〈前ページの答〉　①事によると　②腰が重く

① 自分の年齢の(　　　　)人は、男性より女性に多い。

□ 始末(しまつ)に負(お)えない　

どうやってもうまく対処できない。

hard to deal with

近年燃えないごみが急激に増え、始末に負えなくなっている。

「今年の新入部員、練習はサボるわ文句は言うわ、始末に負えないよ」

□ 性(しょう)が合(あ)う　

何となく気持ちがお互いに通じ合い、いい関係を保(たも)つことができる。

get along well

「犬猿(けんえん)の仲」とは、性が合わなくて仲が悪いという意味だ。

「今のルームメイトとは性が合って、5年も一緒に住んでるの」

□ 白(しら)ける　

何かの理由でその場の楽しい雰囲気が壊れ、嫌な状態になる。

become dull, take the fun out

宴会(えんかい)の座が白けたときに、カラオケは便利な道具だ。

「合コンで盛り上がってるときに試験の話するなよ。白けるよ」

注)合コン：若者のパーティー。異性の相手を見つけるのが主な目的。

練習　② 学生A：来週締め切(しき)りのレポート、今日提出しちゃった。

学生B：え？　もう出したの？　(　　　　)ないでよ。

□ 神経を使う（しんけいつかう）　［－］［気分］

問題が起きないよう、必要以上に気持ちを集中して注意しなければならない。

strain one's nerves

✎ 文化の違う国との交渉には、単語一つにも神経を使う。

☺「いつもの会議でも、学長が出席すると神経を使うよ」

□ 心臓が強い（しんぞうがつよい）　［＋］［－］［否定］

普通の人が恥ずかしがったり遠慮したりすることを、平然と行う。

uninhibited, impudent

✎ 日本人は心臓を強くして自己宣伝することが苦手なようだ。

☺「初対面で携帯の番号を聞くなんて、心臓だなあ」

注）心臓だ：会話で使われる表現。

□ 時間の問題（じかんのもんだい）　［±］

近いうちに結果が出ること。いずれ予想通りになること。

be just a matter of time

✎ 現地では、デモに対する軍隊の出動は時間の問題だとしている。

☺「うわさの二人、結婚はきっと時間の問題だと思うな」

練習　〈前ページの答〉①鯖を読む　②差をつけ

① 遺伝子研究が医療にどんどん応用されるのも、（　　）だろう。

□ 時間を稼ぐ（じかんをかせぐ）　［±］

自分にとって有利な状態になるまで時間を使って何かをする。

stall for time

✎ 弁護士は無駄とも思える質問で、時間を稼ぐ作戦に出てきた。

☺「刑事、犯人から電話です」「長く話して時間を稼げ」

□ 時間を割く（じかんをさく）　［＋］

忙しい状況の中で何かをするために何とか時間を作る。

make time for, find time to

✎ 来日したA国王妃は、忙しい時間を割いて生け花を楽しんだ。

☺「お忙しい中、お時間を割いていただいてありがとうございます」

□ 地が出る（じがでる）　［±］

いつもは表に出ない（出さない）自分本来の性格や特徴が、表れる。

show one's true self

✎ 政治家の失言は、酒が入って地が出たでは済まされない。

☺「東君、酒が入ると方言になるんだ。飲むと地が出るんだね」

練習　② 女性A：東京のデパートで「安くして」なんて、（　　　）わね。
女性B：大阪生まれやから、これ、普通。（　　　）ただけ、ちゃう？

□ 邪魔が入る　［－］［不満］

何かに妨げられて、計画や行動がうまく先に進まなくなる。
be interrupted, encounter interference

悪天候という邪魔が入り、遭難者の救助は遅れた。

「あ、CMか。民放はいいところになると、邪魔が入るんだから」

注）遭難者：山や海で事故などに遭って、身動きがとれなくなった人。

□ 十人十色　［±］

好みや考え方は人によっていろいろだということ。
People have all sorts of preferences and ways of thinking.

好みは十人十色！　うちのお店は種類の多さが自慢です。

「西先生、大学辞めて居酒屋を開くって。人の考えも十人十色ね」

□ 涼しい顔　［－］［非難］

自分には関係ないように澄ましている。
look indifferent

反省もなく涼しい顔の被告に、被害者の家族は怒りを示した。

「涼しい顔している場合じゃないよ。君が当事者なんだよ」

練習　〈前ページの答〉　①時間の問題　②心臓が強い・地が出

①学生：研究室から呼び出し！　デートっていうと(　　　)んだから。

□ 澄ました顔　［±］

きどっている様子。何事もなかったような顔。
look smug, have a straight face

当時のクラス写真には、40の小さな澄ました顔が並んでいた。

「あれ、タンさんじゃない？　澄ました顔して……」「初デートね」

□ 隅に置けない　

思ったよりいろいろな面で才能や知識をもっていてあなどれない。
be smarter than one expected, can't underestimate

女優と付き合っているとは、南教授も隅に置けない人だ。

「田中君、フランス語で話してたよ。案外隅に置けないねえ」

□ 図に乗る　

自分の思うように物事が進むので自信をもち、必要以上の行動をする。
get puffed up (and overdo something)

図に乗るなとの会長の忠告を無視し、社長は事業を拡大した。

「少し褒められたからって図に乗っちゃいけないよ」

練習　②部員A：あいつ、最近、ちょっと(　　　)ているよな。

部員B：大会で優勝してから、何でも口をはさむようになったな。

COLUMN

あなたの「気」はどんな「気」？

日本語の「気」は、心の動きや働きを示します。ここでは、本書に取り上げられていない「気」についても考えてみましょう。さあ、あなたは次のどんなタイプでしょう。

□長い列で待たされるとイライラする　→　**気が短い**[p. 30]
　いつまで待っても落ち着いていられる　→　**気が長い**[p. 30]
□授業の後、次の授業のために黒板を消しておく
　→　**気が利く**[p. 27]
　そんなことには、気が付かない　→　**気が利かない**
□試験勉強のときでもサッカーの試合があると、ついテレビを見てしまう　→　**気が散りやすい**
　何があっても、勉強に集中することができる
　→　**気が散ることはない**
□試験の結果が気になってあれこれ考えてしまう　→　**気をもむ**
　試験が終われば、もう別のことを考える
　→　**気をもむことはない**
□授業中話す人がいると、嫌だ　→　**気になる**[p. 32]
　授業中話す人がいても、自分とは関係ないと思う
　→　**気にならない**
□クラスに日本語のわからない留学生がいるときには、易しい日本語で話しかけるようにする　→　**気を配る**
　つい難しい日本語で話してしまう　→　**気を配らない**

本当にたくさんの「気」がありますね。ほかにどんな「気」があるか、「気を付けて」見てみましょうね。

「先を読んで」ね！

ここまでの復習です

ヤンさんは日本に留学して２年目です。夢は日本の企業に就職すること――できれば日本の一流企業で働きたいと思っています。そんなヤンさんに、ゼミの先輩が次のように言いました。

先輩Ａ「君は頭が固い[p. 13]ね。社会が不景気なときは、一流企業より小さな会社のほうが、ほかの人に差をつける[p. 42]ことができるよ。人の先(さき)を越さなくては[p. 41]ね」

でも、ヤンさんはちょっと意地(いじ)になって[p. 17]います。一か八か[p. 18]で小さな会社に就職して裏目に出る[p. 19]ことだってあるかもしれないからです。いろいろ考えると、腰が重くて[p. 40]なかなか就職活動を始められません。

先輩Ｂ「ヤンさんは、英語も日本語も中国語もできるんだね。隅に置けない[p. 47]な」
先輩Ｃ「人より一歩先(さき)を読んで[p. 41]勉強しているんだね」

ヤンさんは、おだてに乗る[p. 22]タイプではありません。でも、両親にこれ以上仕送りの心配をさせたくありません。両親も早く肩(かた)の荷を下ろしたい[p. 24]と思っているに違いないからです。明日から会社訪問をしようと決心しました。
さあ、ヤンさんはどんな会社に就職できるでしょうね。これからヤンさんの活躍できる企業に就職が決まるように、みんなで応援しましょうね。

□ 世話（せわ）が焼（や）ける　－　不満

その人や物のために特に時間や労力が必要で困る。

be a lot of trouble

✎ 動物を飼（か）うことは確かに世話が焼けるが、喜びも大きい。

☺「新入生には手取り足取り教えなきゃダメだから、世話が焼ける」

□ 世話（せわ）を焼（や）く　＋　☹

その人のために自分から進んで面倒を見る。

take care (of someone)

✎ 昔の主婦は、家族の世話を焼くことが一番大切な仕事だと見なされていた。

☺「今どき、大家さんが世話を焼いてくれるとは、珍しいね」

□ 先手（せんて）を打（う）つ　＋

自分にとって有利な状況を作るため、相手より先（さき）に対処する。

make the first move, forestall

✎ どんな業界でも先を読んで、先手を打っていくことが必要だ。

☺「先手を打って謝られたんじゃ、しかろうにもしかれないね」

練習　〈46・47ページの答〉　①邪魔（じゃま）が入る　②図に乗っ

① 女性：お茶くらい自分で入れてよ。本当に(　　　)わね。

□ そっぽを向（む）く　－　否定

相手の言動に対し、関心や協力する気持ちが全くない様子を表す。

turn one's back on, ignore

✎ 市長のあまりに独断的な命令に、関係者はそっぽを向いた。

☺「後輩に頼んでも、文句を言うわ、そっぽを向くわで、参るよ」

□ 玉（たま）にきず　

完全に近いものに、ほんの少しだけ欠点があること。

the only shortcoming

✎ エイズの治療薬も日々進歩しているが、値段が高いのが玉にきずである。

☺「南教授は私の理想だけど、マザコンっていうのが玉にきずだわ」

注）マザコン：mothercomplex　マザーコンプレックス

□ 大（だい）は小（しょう）を兼（か）ねる　

大きいものは小さいものの代わりに使うことができて便利だ。

Large things can also serve for small things.

✎ 大は小を兼ねるというが、大きい車は都会生活には不便だ。

☺「この冷蔵庫、大きくない？」「大は小を兼ねるからいいよ」

練習　② 男子学生：新入生のときは(　　　)てくれたのに……これ、丼（どんぶり）だよ。

女子学生：(　　　)のよ。カップ割っちゃったから仕方ないでしょ。

□ 駄目で元々 [＋]

成功の可能性は元々低いから、失敗を気にせずやってみたほうがいい。
have nothing to lose

駄目で元々だと思って挑戦すると、案外いい結果を生むものだ。
「駄目元だと思って宝くじを買ったら、3万円当たったの」
注)駄目元：会話でよく使う表現。

□ 知恵を絞る [＋]

いい方法やアイデアを生み出そうと一生懸命考える。
rack one's brains

先進国が知恵を絞ったCO_2削減対策も、問題が山積みだ。
「最近の学生は、遊ぶことにばかり知恵を絞っているね」

□ 力になる [＋]

相手に対して好意的に協力する。
help

日本政府は、その国に対して経済面で力になることを約束した。
「就職ではお力になっていただき、心から感謝しております」

練習 〈前ページの答〉①世話が焼ける　②世話を焼い・大は小を兼ねる
① 女性：好きなんでしょ！（　　　）で、彼女にアタックしてみたら？

□ 力を入れる／力が入る [＋]

あることに対して熱心に集中して働き掛ける。
make an effort, put one's energy into

地域の特色を生かした町づくりに力を入れている市町村が多い。
「単位は取れたし、後は論文の仕上げに力を入れるだけだ」

□ 力を落とす [－] [気分]

失敗したり不幸があったりして、気力がなくなる。
be discouraged

父は母が亡くなって以来、すっかり力を落としてしまった。
「北先生、助教授昇進がダメになって力を落としているらしいよ」

□ 調子がいい ①[＋] ②[－] [批判]

①物事が順調に進む。　②表面的に相手の気に入るような言動をする。
① go well, be in good shape
② superficially say/do things to please someone

体の調子がいい時は、仕事の調子もいいものだ。
「そんな調子がいいこと言っておだてても、手伝わないわよ」

練習 ② 学生A：ね、聞いた？　北先生のお母様、急に亡くなったんですって。
学生B：先生、（　　　）ていらっしゃるでしょうね。

□ 調子に乗る　[－] [批判]

自分の思うように物事が進み、その勢いに乗って行動し、失敗する。
get carried away (by success or smooth progress)

高速道路で調子に乗ってスピードを出すのは危険だ。
「昨日は調子に乗って飲みすぎちゃったよ」

□ 調子を合わせる　[＋] ☹ [－] [批判]

相手に話や行動を合わせる。いい結果を得るために、自分を主張しないことが多い。
get in tune with, be agreeable

リレーはみんなで調子を合わせないと、いい結果が得られない。
「先輩に調子を合わせて飲んでいたら、終電に間に合わないぞ」

□ ちょっとやそっと　[強]

状況の程度が普通以上であること。また、それらに対して、少しばかりの対応では、状況が変わらないことなどを示す。否定表現とともに使う。
a little, easily (used with negative expressions)

今の巨額な負債は、ちょっとやそっとの手当てでは減らせない。
「お客さん、この渋滞、ちょっとやそっとでは動かないよ」

練習 〈前ページの答〉 ①駄目で元々（駄目元）　②力を落とし
① 男性：だれか電話に出て！　おれ、天ぷらを揚げてて、（　　　）んだ。

□ 手が空く　[±]

仕事や勉強などの区切りがついて少し暇になる。
have free time

手が空いたらやろうと思っていると、いつまでもできないものだ。
「ヤンさん、手が空いたら、ちょっと来てください」

□ 手が出ない　[－] [否定]

自分の資力を超えていてどうにもならない。
can't afford

東京都心の一戸建て住宅は、庶民にはとても手が出ない。
「新しい車は欲しいけど、その値段では手が出ないよ」

□ 手が離せない　[±]

何かをしているので、ほかのことができない。
be tied up

手が離せないときに限って、客が来たりするものだ。
「田中は今、手が離せませんので、後で電話させます」

練習 ② 男性Ａ：（　　　）たら、この携帯の使い方教えてよ。
男性Ｂ：わかった。でも、この仕事、（　　　）じゃ終わらないかも。

□ 手(て)が回(まわ)らない　－　否定

忙しかったり資金がなかったりで、何かすることができない。

be unable to do something (because of lack of time, money, etc.)

✎ 市は、財政的理由からごみの再利用に手が回らないと言っている。

☺「卒論、データ整理はしたけど、表作成まで手が回らないよ」

□ 手数(てすう)を掛(か)ける／手数(てすう)が掛(か)かる　＋／－

特別に時間や労力がかかることをする。

trouble (someone)/require time and effort

✎ 和食は見た目はシンプルだが手数を掛けたものが多い。

☺「このたびは、推薦状(すいせんじょう)のことで、お手数をお掛けしまして……」

□ 手(て)に入(い)れる／手(て)に入(はい)る　＋

欲しいと思っていたものが自分のものになる。

get

✎ ヘッドハンティングで優秀(ゆうしゅう)な人材を手に入れる会社もある。

☺「1960 年もののワインが手に入ったんだ。今晩飲みに来ないか」

注)ヘッドハンティング：headhunting
能力の高い人を、ほかの会社などがいい条件で引き抜くこと。

練習 〈前ページの答〉 ①手が離せない　②手が空い・ちょっとやそっと

① 女性：え？　もう 6 時？　手作りケーキまでは(　　　)ね。

□ 手(て)に負(お)えない　－　否定

自分の力を超えていてどうすることもできない。

unmanageable, beyond one's control

✎ 手に負えない様子の現場も、自衛隊の作業で素早(すばや)い回復を見せた。

☺「動かさないで！　私たちの手には負えないよ。119 番に電話！」

□ 手(て)につかない　±　気分

気になることがあってほかのことができない。

be unable to concentrate on something (because of other concerns)

✎ 来月帰国するヤンさんは、今から仕事が手につかないようだ。

☺「来週、結婚式だって？」「うん、勉強が手につかなくて」

□ 手(て)も足(あし)も出(で)ない　－　否定

自分の能力を大きく超えていてどうすることもできない。

helpless

✎ 大型スーパーができたら、地元(じもと)の商店は手も足も出ない。

☺「日本語能力試験の 1 級、難しくて手も足も出なかったよ」

練習 ② A：お子さんの入学試験の発表、今日でしたっけ？

B：そうなんだよ。おかげで、朝から何も(　　　)んだ。

□ 手を掛ける／手が掛かる　＋／−

何かをするのに、時間をかけ面倒な努力をする。／努力が必要だ。

put in time and effort/require time and effort

✎ 和風建築は技術も難しく手が掛かるため、後継者不足が問題だ。

☺「このソフト、古くて変換が遅いから、文書作成に手が掛かるんだ」

□ 手を貸す　＋

だれかが何かをするのを手伝ったり協力したりする。

help, cooperate

✎ 銀行の経営再建に国が手を貸すことに、不満の声も多い。

☺「ナオミさんも手が空いたら、ちょっと手を貸して！」

□ 手を借りる　±

だれかに手伝ってもらったり協力してもらったりする。

get help from

✎ オリンピック開催期間中は、多くのボランティアの手を借りる。

☺「皆さんの手を借りて、無事に研修を終えることができました」

練習　〈前ページの答〉①手が回らない　②手につかない

① 十分な情報収集をしないで新規分野に(　　　)のは危険だ。

□ 手を出す　−　否定

通常は避けたほうがいいことに対して、自分から進んでする。よくない結果を生むという意味合いがある。

get involved in (something indiscreet)

✎ 素人が十分な知識ももたずに株や外国為替に手を出すのは危ない。

☺「父は口癖のように、かけ事には手を出すなと言ってました」

□ 手を抜く　−　否定

しなければならないことを完全にはしないで終わらせる。

do carelessly, do in a slapdash manner

✎ 事故の原因は、工事の手を抜いたことによるものらしい。

☺「あれ、ご飯と漬物だけ？　今晩は手抜きだね」

注)手抜き：会話でよく使う表現。

□ 突拍子もない　

常識では考えられないような。

crazy, wild

✎ 新企画は突拍子もないものだと言われたが、成功を収めた。

☺「面接で目立ちたいからって、突拍子もないことを言うなよ」

練習　② 夫：(　　　)て作ったわりには、味はいまひとつというところだな。

妻：おそばって単純な料理だけど、難しいのよ。次、がんばって。

□ どうにかこうにか　強

やっと。「どうにか」を強調している表現。

somehow, barely

消費税の改定は、どうにかこうにか期間内に結論が出そうだ。

「タクシーの運転手を急がせて、どうにかこうにか間に合った」

□ どっちもどっち　ー　批判

大した違いはなく、どちらもよくない。

Both are to blame.

けんかの原因は、たいていどっちもどっちの場合が多い。

「誕生日を忘れたからって、口をきかない？　どっちもどっちだな」

□ 長い目で見る（ながいめでみる）　＋

直接的な結果だけを考えるのではなく、将来のことを考えて判断する。

see (something) in the long run

企業のための公的資金の投入は、長い目で見れば疑問だ。

「早く一人前になるようがんばります。長い目で見てください」

練習　〈前ページの答〉　①手を出す／手を貸す　②手を掛け

①女性：日曜は遊びたいから(　　　)土曜日までに片付けようね。

□ 何が何でも（なにがなんでも）　強

どんなことがあっても。絶対に。

no matter what, at any cost

何が何でも有名幼稚園に子供を入れたがる親には、驚（おどろ）かされる。

「何が何でも自分でやろうと思うなよ。甘えることも必要さ」

□ 何かにつけて（なにかにつけて）　強

多くの機会を利用して積極的に何かをする。

for every little thing, every chance

「ボスの日」「秘書の日」など、企業は何かにつけて記念日を作る。

「何かにつけて女性ばかり飲みに誘うのはセクハラよね」

注）セクハラ：sexual harassment　性的嫌がらせ。

□ 何から何まで（なにからなにまで）　強

すべて。小さいものから全部。

everything, totally

最近の引（ひ）っ越（こ）しは、何から何まで業者がやってくれる。

「本当に何から何までお世話（せわ）になって、ありがとうございます」

練習　②学生A：卒論、間に合った？

学生B：(　　　)ね。でも、通るかなあ？

□ 煮(に)え切(き)らない　［－］［否定］

態度がはっきりしないでぐずぐずしている様子。

indecisive, wishy-washy

✎ 面接で何か聞かれて、煮え切らない態度をとるのはよくない。

「結婚するのかしないのか、彼の態度が煮え切らなくて……」

□ 荷(に)が重(おも)い　［－］［気分］

責任が大きすぎたり、自分の能力以上であって、気持ちの負担(ふたん)が大きい。

be a heavy load

✎ 部下に仕事をさせるなら、少し荷が重いほうがやる気を引き出せる。

「留学生会の会長なんて、私には荷が重すぎますよ」

□ 二(に)の舞(ま)い　［－］［否定］

前の人と同じような失敗をすること。

repeat another's folly

✎ 今回の事故は、数年前の墜落(ついらく)事故の二の舞いになるところだった。

「これじゃ、前期試験の二の舞いだよ。勉強方法を変えなくちゃ」

練習 〈前ページの答〉 ①何が何でも　②どうにかこうにか

① とうとう結婚式の司会、頼まれちゃった。(　　　)なあ。

□ 二番煎(にばんせん)じ　［－］［否定］

前のもののまねや繰り返しで新しくないこと。

rehash, just an imitation

✎ ベンチャービジネスの中にはヒットもあるが、二番煎じも多い。

「映画、どうだった？」「前作の二番煎じさ」

注)ベンチャービジネス：venture business

□ 抜(ぬ)け目(め)がない　［－］［批判］

ずる賢く立ち回ってすきがない。

shrewd, astute

✎ 抜け目がないと言われても、リストラ対策を考えておくべきだ。

「教授にもチョコあげたって？　抜け目ないね」「試験前だもの。当然」

注)チョコ：この場合はバレンタインデーのチョコレート。

□ 熱(ねつ)がこもる　［＋］

熱意や力が入っている。

impassioned, enthusiastic

 投票日を明日に控(ひか)えて、候補者の演説(えんぜつ)にも一段と熱がこもった。

「学生たちの熱がこもったスピーチに拍手をお願いします」

練習 ② 女性A：たかし君にノート借りた上にお昼ごちそうになっちゃった。

女性B：ほんとう？　(　　　)わね。カレでもないのに。

COLUMN

数　1から10まで

（テキストにあるものは＊のマークがついています）

1. ＊**一か八か**［p. 18］　＊**一息入れる**［p. 72］　＊**一人相撲を取る**［p. 73］
2. ＊**二番煎じ**［p. 63］　＊**二の舞い**［p. 62］
3. **三国一の花嫁**　この場合の「三国」は中国、インド、日本を指す。日本の室町時代に流行した言い方で、「三国」は世界を指している。
4. **四苦八苦**　仏教の教える、人の世を生きる苦しみの種類を表している。四苦は「生」「老」「病」「死」のこと。
5. **三三五々**　人が集まったりするときに使う数字で、3人、5人が使われている。
6. **うちの宿六**　仕事をしないで、家でぐうたらしている夫を指して、妻が言う言葉。この「六」は「ろくでなし」に由来する。
7. **七面倒くさい**　この場合の「七」は、「非常に」という意味で使われている。
8. **村八分**　日本の江戸時代に、村民に規則違反があったときに、その家とは村の10の交際のうち「家事」と「葬式」以外は援助も見舞いもしなかったこと。残りの8つは、「元服」「出産」「結婚」「普請」「病気」「水害」「旅行」「年忌」。
9. **三三九度**　結婚式で新郎と新婦が、同じ三つ組みの杯で酒を3度ずつ飲み、合計9度飲み合う結婚の約束の儀式。
10. ＊**十人十色**［p. 46］　好み、考え、性格などが、人によって違うこと。この10は「すべて」の意味。

あなたの国では、数はどんなふうに使われていて、どんな意味をもっていますか。調べてみると面白いですね。

自動詞・他動詞の使い分けで意味に違いが出る！

手が掛かる［p. 58］　（手＋が＋自動詞）
手を掛ける［p. 58］　（手＋を＋他動詞）

外国人学習者にとって、この使い分けは難しいようです。なぜなら、自動詞か他動詞かによって、助詞に使い分けがあるだけではなく、意味も変わり、その上その表現がプラスの意味をもったり、マイナスの意味をもったりすることがあるからです。

手が掛かる　自動詞の使い方はマイナスの意味があるため、注意が必要！

・あなたは本当に手が掛かる人ね。
（褒められたわけではありません。相手はあなたの態度に困っているのです）
・犬を飼っているが、餌をやったり、散歩に連れていったり、本当に手が掛かる。

手を掛ける　他動詞で使うと、マイナスの意味はなくなる！

・犬を飼っている。自分の家族だと思って手を掛けて大切に育てている。

〇の部分に助詞をいれてください。

差〇つける［p. 42］（他動詞）　**頭〇下げる**［p. 14］（他動詞）
差〇つく［p. 42］（自動詞）　**頭〇下がる**［p. 14］（自動詞）

ヤンさんのライバルのケイさんは、毎日漢字を勉強していて本当に頭が下がる。ヤンさんはいつのまにか差をつけられて（「差をつける」の受け身形）しまった。「こんなに差がついては、もう追いつけない」と思ったヤンさんは、「ケイさん、漢字を教えてください」と頭を下げた。

「慣用表現」の自動詞・他動詞を上手に使い分けると、日本語のコミュニケーションにとても役立ちますよ。

□ 熱が冷める

ー　否定

何かに夢中になっていた気持ちが冷める。

lose interest, (one's passion) cools

急に人気が出たようなヒット商品は、消費者の熱が冷めるのも速い。

「あれ？　放課後は柔道部の練習じゃないの？」「熱が冷めちゃって」

□ 寝耳に水

ー　気分

突然の出来事に驚く。悪いことに使う場合が多い。

a bolt from the blue

大手保険会社の突然の倒産は、契約者にとっては寝耳に水だった。

「海外に転勤だって？」「そうなんだよ。寝耳に水さ」

□ 音を上げる

ー　気分

苦しいことに我慢できなくなって、続ける気力がなくなること。

give in, throw in the towel

生活環境の急速なデジタル化に、音を上げるお年寄りが多い。

「一晩の徹夜で音を上げるようじゃ、この研究、続けられないぞ」

注)徹夜：一晩中起きていること。

練習 〈62・63ページの答〉　①荷が重い　②抜け目がない

①スキャンダルが原因で(　　　)てしまうファンもいるそうだ。

□ 念を押す

±

一度言ったことをまた確かめる。注意する。

remind, say again to make sure

ごみを分別するように何度も念を押しても、守れない人が多い。

「飲んだら乗るなって念を押したのに」「ごめん、二度としないよ」

□ 喉から手が出る

±

何かが欲しくて仕方がないと思う気持ち。

want badly

安全なエネルギーは、どの国も喉から手が出るほど欲しいだろう。

「この服、喉から手が出るほど欲しいけど、50万じゃねえ……」

□ 歯が立たない

ー　否定

相手が強すぎたり物事が難しすぎたりして、対処できない。

be beyond one's power, be no match for

日本のサッカーも、強い国を相手にすると歯が立たない。

「試験、どうだった？」「難しくて全然歯が立たなかったよ」

練習 ②学生A：西先生って、学生時代テニスのチャンピオンだったんだって。

学生B：道理で。僕なんか、(　　　)わけだ。

□ 恥(はじ)をかく　− 気分

失敗などを人に知られ、恥(は)ずかしい思いをする。
humiliate oneself

✎ 無知で恥をかくより、わからないことは聞いたほうがいい。

☺ 「この間、先生に敬語の使い方間違って、恥をかいちゃった」

□ 鼻(はな)が高(たか)い

得意な気持ち。誇らしいと思うこと。
be proud

✎ 世界に先駆(さきが)けた電気自動車の成功に、会社も鼻が高いだろう。

☺ 「新人文学賞だってね。優秀(ゆうしゅう)な学生を持って僕も鼻が高いよ」

□ 話(はなし)が合(あ)う

共通点が多くあって、話していて楽しい。
be easy to converse with (because of common interests)

✎ 二人は大学が同じだったので話が合い、商談も順調に進んだ。

☺ 「キャシーさんとは話が合うから、苦手(にがて)な英語も楽しいわ」

練習 〈前ページの答〉 ①熱が冷め　②歯が立たない

① 親(した)しい友だちも、生活状況が変わると(　　　)なくなることもある。

□ 話(はなし)が弾(はず)む　＋

楽しい雰囲気(ふんいき)で会話が活気づく。
conversation becomes lively

✎ 話が弾むといっても、最近はメールでの会話を指すこともある。

☺ 「お話が弾んでいるところ申し訳ありませんが、お時間です」

□ 話(はなし)にならない

話をする価値がない。あまりにひどすぎて何も言えない。
be out of the question

✎ コストが高くて話にならないので、国内生産は中止になった。

☺ 「この机、注文してから出来上がるのに1年もかかるの？
話にならないね」

□ 話(はなし)の腰(こし)を折(お)る

ほかの人の話を途中で邪魔(じゃま)して話を続けられなくする。
spoil someone's story (by butting in)

✎ 話の腰を折られると、その前に何を話していたか忘れてしまう。

☺ 「話の腰を折って悪いんだけど、時間がないから手短(てみじか)にして」

練習 ② 学生A：この研究、予算は10万円だって。
学生B：10万円？（　　　）よ。最低100万はかけないと。

□ 鼻にかける　− 批判

自分がほかより優れていることを意識して態度に表す。
be conceited about

南教授は功績を鼻にかけないので、学内での評判がいい。
「森さんって、パソコンの知識すごいけど、少し鼻にかけてるね」

□ 鼻につく　① − 否定 ② − 不満

①嫌なにおいがする。②同じことを繰り返されて、飽きて嫌になる。
① stink　② get fed up with

「たくあん」は慣れないうちはにおいが鼻についたが、今では大好物だ。
「大好きな相手でも、毎日一緒に暮らせば鼻につくこともあるよ」

□ 羽を伸ばす　＋ ☹

抑えられた状態から自由になる。思い通りに行動する。
go on the loose

日本の大学受験は厳しいので、入学後、羽を伸ばす学生が多い。
「南先生、学会で、来週から２週間休講！」「少し羽を伸ばせるね」

練習　〈前ページの答〉①話が合わ／話が弾ま　②話にならない
①コンパにカラオケ……。試験の後は(　　)なくちゃ！

□ 早い者勝ち　＋

ほかより早い人が利益を得る。
First come, first served.

得をするような気がして、早い者勝ちに釣られる客は多い。
「新型パソコンが７万円。５台だけですから早い者勝ちですよ！」

□ 腹を立てる／腹が立つ　− 不満

何かに対して不愉快な気持ちになり、怒りを感じる。
get angry

日本では、国民が政治に腹を立てても、暴動に至ることは少ない。
「そんな小さいことに腹を立ててもしょうがないでしょ」

□ ばかにする　− 否定

相手や物に能力や価値がないと判断し、低く見たり無視したりする。
make fun of, make light of

風邪は重い病気のきっかけにもなるので、ばかにすることはできない。
「ロボット犬なんてばかにしてたけど、意外にかわいいんだ」

練習　②女子学生Ａ：北先生、女性にはこの研究は無理だって(　　)のよ。
女子学生Ｂ：そうなのよ。もう！　考えただけでも(　　)わよ。

□ ぱっとしない

－ 否定

人目を引かない。あまりよくない。

lackluster, lack impact

努力したにもかかわらず、営業成績（せいせき）はぱっとしなかった。

「このかばん、デザインはぱっとしないけど、使いやすいんだ」

□ 一息入れる（ひといきい）

＋

仕事などを続けてきて、少しだけ休む。

take a breather

会議が長引（ながび）いたときは、一息入れたほうがいいアイデアが出る。

「半分終わったね。ちょっと一息入れて、お茶でも飲もう」

□ 人ごとではない（ひと）

自分には関係ないことだと無関心ではいられない。

can't be indifferent about

老人問題は、だれにとっても人ごとではないだろう。

「先輩、就職がないって。人ごとじゃないな。おれたちも来年だ」

練習 〈前ページの答〉 ①羽を伸ばさ ②ばかにする・腹が立つ

① これ、学園祭のポスター？ （ ）な。人目を引かないよ。

□ 人目を引く（ひとめ ひ）

様子が際立っていて人の注目を集める。

attract attention

犯人は犯行後も、人目を引く帽子をかぶっていたそうだ。

「そのピンクのパンツ、人目を引くわよ。もっと地味（じみ）にして」

□ 一人相撲を取る（ひとりずもう と）

自分だけの勝手（かって）な判断で一人で何かをし、無駄（むだ）な結果に終わる。

make a fuss for nothing

今回の入札（にゅうさつ）は参加者がなく、一人相撲を取る結果になった。

「君も僕のことを好きだと思ってたけど、僕の一人相撲だったね」

□ 悲鳴を上げる（ひめい あ）

普通にできる程度を超えた状態になってしまい、困る。

be overwhelmed, cry for mercy

セール初日には客が大勢（おおぜい）押し寄せ、店はうれしい悲鳴を上げた。

「デート代にプレゼントに……今月は財布（さいふ）も悲鳴を上げているな」

練習 ② 学生Ａ：中村君、必修科目落としたんだって。

学生Ｂ：（ ）な。おれも出席日数、ちょっと危ないんだ。

□ 冷や汗をかく　【－】【気分】

失敗したり恥ずかしい思いをするのではないかと心配して緊張する。
break into a cold sweat

会議は順調に進んだものの、鋭い質問に冷や汗をかく場面もあった。
「スピーチの途中で考えてた文を忘れて、冷や汗かいちゃった」

□ びくともしない　【＋】

何があっても全然動かない。悪い結果にならない。
stand firm, not budge an inch

多少の不況ではびくともしなかった企業が次々に倒産する時代だ。
「我が社の工法で建てた家は、地震が来てもびくともしません」

□ ピンからキリまで　【強】

いいものから悪いものまで。
every sort of

この国の宝石は有名だが、値段も品質もピンからキリまである。
「ホームページ、増えたけど、内容はピンキリだね」
注）ピンキリ：会話でよく使う表現。

練習 〈前ページの答〉 ①ぱっとしない　②人ごとではない
① ふう、何とか助かった……でも、(　　　)たなあ。

□ ピントが外れる　【－】【否定】

言うことなどが要点を突いていないで間が抜けていたりする。
be out of focus

今どき会社が結婚退社を要求するとは、少しピントが外れている。
「北先生の、質問に対する答え、ちょっとピントが外れてたね」

□ ぴんとくる　【±】

本当の事実などを直感的に感じ取る。
realize instinctively, ring a bell

この顔にぴんときたら110番！（犯罪容疑者の顔写真に添える言葉）
「彼を見たとたん、ぴんときたの。神様が決めた人だって」

□ ふいにする／ふいになる　【－】【否定】

あるきっかけから、今までの努力やチャンスを急に失うこと。
waste/be wasted

不用意な発言から大臣の地位をふいにした政治家もいる。
「え、データ削除!?　1カ月の作業がふいになったじゃないか」

練習 ② 学生A：試験の選択問題、わからないときどうする？
学生B：最初に(　　　)たものを書くと、たいてい当たるよ。

□ 太く短く　[±]

自分の思うようにしたいことをする。人の生き方に関して、長生きなどしなくてもいいから自由に生きる、という意味を表すことが多い。

Live a short but merry life.

父は太く短い人生を理想としていたが、大病してから考えを変えた。

「好きなことをしておいしい物食べて、太く短く生きたいな」

□ 懐が温かい／懐が寒い　[＋]／[−] [否定]

お金が十分ある。／お金があまりない。

have plenty of money/be short on money

給料日前は懐が寒いのか、飲み屋も客が少なくなるそうだ。

「奨学金が入って懐が温かいから、今日は焼肉定食にしよう」

□ 踏んだり蹴ったり　[−] [気分]

悪いことが続いて起こり、それに対してうんざりした気持ちをもつ。

add insult to injury

雨で試合は中断。再開しても大敗。ファンは踏んだり蹴ったり！
(スポーツ新聞の見出し)

「電車で足を踏まれるわ、痴漢に遭うわ、踏んだり蹴ったりよ」

練習　〈前ページの答〉 ①冷や汗をかい　②ぴんとき

①財布は忘れ……昔の彼女にばったり会い……(　　　)のデートだった。

□ ブレーキをかける　[−] [否定]

何かが実行されていくのを邪魔したり遅らせたりする。

put a stop to, put the brakes on

莫大な経費が、宇宙開発にブレーキをかけている。

「北先生は飲み始めると、ブレーキをかけられないからなあ」

□ へそを曲げる

ある理由をきっかけに機嫌を悪くして、頑固な態度をとったりする。

get cross and act stubborn

不親切な店員の説明に、客はへそを曲げて帰ってしまった。

「彼ったらへそを曲げて、私と口をきかないのよ」「子供ね」

□ 細く長く　[＋]

「太く短く」の反対の意味。派手さや激しさはないが、長く続く様子を表す。人生に関すること以外に使われることも多い。

Live a simple but long life.

適度な距離を保って細く長く続く友人関係も悪くないものだ。

「茶道は一生の趣味として、細く長く続けたいと思っています」

練習　② 妻：ねえ、あなた、家の中で自分の娘とメールしてるの？
夫：先週、髪型のこと注意したら(　　　)て、口きいてくれないんだ。

□ 骨が折れる／骨を折る　［－］［不満］／［＋］

何かするのが大変だ。苦労する。／苦労してする。何かに力を尽くす。

be laborious/take pains

海の上に空港を建設する工事は骨が折れるものだった。

「北先生が骨を折ってくれたおかげで、あの文献、手に入ったよ」

□ 棒に振る　［－］［否定］

努力などを無駄にしてしまう。

waste

最近は安定した職を棒に振って脱サラを希望する人もいる。

「申し込み期限を勘違いしていて、奨学金を棒に振っちゃったよ」

注）脱サラ：サラリーマンを辞めて、自営業などに就くこと。

□ 的を射る　［＋］

問題の要点を正確にとらえる。

be on the mark, hit the nail on the head

外国人の日本に対する意見や指摘の中には的を射たものも多い。

「このゼミの学生は的を射た質問をするから、大変だけど面白いよ」

［練習］〈前ページの答〉 ①踏んだり蹴ったり　②へそを曲げ

① あの俳優はもと体操の選手だったから、本当に(　　　)んだって。

□ 真に受ける　［－］

本当だと思ってしまう。真実だと思う。

take seriously

「グングンやせる」などの甘い言葉は真に受けないほうがいい。

「大げさな話を真に受けて、損しちゃったよ」

□ 見えを張る　［－］［批判］

人によく思われようとして、必要以上に無理をする。

show off

人は外見で判断することがある。服装に見えを張ることも時には必要だ。

「友達が一緒だったから、つい見えを張って高いのを買っちゃった」

□ 身が軽い　［＋］

①体の動きが軽い。　②家族など行動の自由を制限するものがない。

① nimble　② carefree, be free of attachments

相撲の力士は体の大きさのわりに身が軽い。

「丸井君は独身で身が軽いから転勤かもしれないね」

［練習］② 学生：先生、このたびは本当にいろいろ(　　　)ていただいて……。

先生：就職決まったそうだね。よかったね。おめでとう。

□ 右に出る者がない　＋

その人より優れた人がいない。
be second to none

脳外科の手術では、南教授の右に出る者がない。

「田中さんにパソコンを扱わせたら右に出る者がないよ」

□ 右へ倣え　±　－

先にした人のまねをして同じようにする。批判の意味を含むこともある。
imitate, follow suit

A国が原油の価格を値上げすると、ほかの国々も右へ倣えをした。

「寄付いくらにする？」「隣の家が千円だから右へ倣えでいいよ」

□ 水と油　－　否定

性格が違うため、調和できないで反発し合うこと。
be like oil and water, not get along

税率引き上げをめぐる両党首の意見は、水と油のように対立した。

「丸井とナオミさん、性格は水と油だけど、妙に仲がいいよね」

練習　〈前ページの答〉 ①身が軽い　②骨を折っ

① 猛暑で水不足になった今年は、水のありがたさが(　　　)てわかった。

□ 水の泡　－　否定

努力してきたことが無駄になること。
come to nothing

国際紛争が原因で国際試合不参加とは、選手の努力も水の泡だ。

「え、研究、先を越されたの？　これまでの苦労が水の泡か」

□ 身に染みる　±

①寒さなど強く感じる。②物事をしみじみと深く感じる。
feel deeply

一人暮らしで病気のときに受けた親切ほど身に染みるものはない。

「南国生まれだから日本の冬の寒さは身に染みます」

□ 身につける／身につく　＋

学んだ技術や知識などを本当の自分の力にする。／なる。
acquire (skill or knowledge)

一度身についた習慣は、なかなか変えられないものである。

「日本でコンピュータの技術を身につけて帰りたいと思います」

練習　② 男性A：うまい！　どこでこんな料理の腕前を(　　　)たの？

男性B：おれ、一人暮らしが長かったから。自然に(　　　)たよ。

□ 耳が痛い（みみ いた）

一 気分

人が指摘した自分の悪いところが真実なので聞いているのがつらい。

make one's ears burn

教師には耳が痛い話でも、学生の評価は素直に受け止めるべきだ。

「今日のゼミ、先生の指摘は耳が痛かったけど、勉強になったよ」

□ 耳に入れる（みみ い）／耳に入る（みみ はい）

±

偶然知った情報をだれかに伝える。／伝わる。

tell/hear

警察署長の耳に入るのが遅れたため、事件は大きくなった。

「角川課長、ちょっとお耳に入れたいことがあるんですが……」

□ 耳にする（みみ）

±

うわさや情報などを偶然聞いて知る。

hear, happen to learn

留学生が生活の中でよく耳にする言葉は「どうも」だそうだ。

「今年は新卒者を採用しない企業が多いと耳にしたけど、本当？」

練習 〈前ページの答〉 ①身に染み（み し） ②身につけ・身につい

① 女性：私、あの歌手人気が出ると思っていたの。意外と(　　)でしょ？

□ 耳を疑う（みみ うたが）

±

思いがけないことで聞き違いではないかと思う。

can't believe one's ears

その事件では、耳を疑うような事実が明らかになった。

「コンテストの最終審査（しんさ）で名前を呼ばれたときは、一瞬耳を疑った」

□ 脈がある（みゃく）

相手の反応から判断してうまくいきそうだ。

have hope, be promising

会社の面接で意地悪（いじわる）な質問をされた場合は、案外脈があるという。

「パーティーで会った彼、携帯（けいたい）の番号くれたし、脈がありそう」

□ 見る目がある（み め）

物事や人物の価値や実力を見抜ける。

have an eye for

時代を見る目があれば、ヒット商品を次々と生み出せる。

「ネット事業に目をつけるとは、君もなかなか見る目があるね」

注）ネット事業：インターネット関係の事業。

練習 ② 男性A：A社が危ないって話、部長の(　　)ておいたほうがいいよ。

男性B：うん。でも、自然に(　　)のも時間の問題だと思うよ。

COLUMN

類は友を呼ぶ—慣用表現の分類あれこれ

「類は友を呼ぶ」とは、似た者同士が自然に集まること。慣用表現の中には、同じ特徴をもったものや共通点のあるものなどがあります。中には「顔が広くて」二つ以上のグループに入っているものもあります。

類は友を呼ぶ

日本の伝統や文化、社会に関係するもの

★日本人の考え方を表したものや、昔からある習慣や行動などを基にして作られたものなどです。

□**上には上がある**[p. 19]　□**縁がある／縁がない**[p. 20]
□**鯖を読む**[p. 42]　□**親の脛をかじる**[p. 23]
□**先手を打つ**[p. 50]　□**一人相撲を取る**[p. 73]

「ある」を使うもの

★「ある」を使う場合は、たいてい、それがいいことであったり、認めるという意味があったりすることが多いようです。

□**上には上がある**[p. 19]　□**縁がある**[p. 20]
□**気がある**[p. 27]　□**見る目がある**[p. 83]　□**脈がある**[p. 83]

否定的に使われるもの

★「いい」や「うまい」、「大きい」など、よさそうな言葉が使ってあるのに、意味としては否定的になります。

□**大きなお世話**[p. 21]　□**気が強い**[p. 29]　□**口がうまい**[p. 34]
□**心臓が強い**[p. 44]　□**調子がいい**[p. 53]　□**虫がいい**[p. 86]
□**要領がいい**[p. 97]

「顔」を使うもの

★人間の体の一部を使った表現はたくさんありますが、下のような顔はどんな意味を表していると思いますか。

□**いい顔をしない**[p. 16]　□**大きな顔をする**[p. 21]
□**顔に出る**[p. 24]　□**涼しい顔**[p. 46]　□**澄ました顔**[p. 47]

数字を使うもの

★皆さんの国では、どんな数字を使いますか。

□**一息入れる**[p. 72]　□**ワンクッション置く**[p. 101]
□**一人相撲を取る**[p. 73]　□**一か八か**[p. 18]
□**二の舞い**[p. 62]　□**十人十色**[p. 46]

「上下左右」を使うもの

★上下左右といっても、位置だけではないようです。動詞の「上げる」を使った場合は否定的な意味になるようですね。

□**頭が上がらない**[p. 13]　□**頭を下げる／頭が下がる**[p. 14]
□**上には上がある**[p. 19]　□**お手上げ**[p. 23]
□**肩の荷を下ろす**[p. 24]　□**音を上げる**[p. 66]
□**悲鳴を上げる**[p. 73]　□**目の上のこぶ**[p. 92]
□**右へ倣え**[p. 80]　□**右に出る者がない**[p. 80]

□ 身（み）を入（い）れる　＋

真剣に何かに取り組む。

put one's heart into

子供の話を、身を入れて聞かない親が多くなっているそうだ。

「試験前なんだからもっと身を入れて勉強しないとダメだぞ」

□ むきになる　－　否定

小さなことやつまらないことに対して、必要以上に真剣に反応する。

get ruffled (over something trivial)

記者の質問に対して、首相（しゅしょう）は半ばむきになって反論していた。

「そんなにむきになるなよ。軽い冗談なんだから」

□ 虫（むし）がいい　－　批判

自分の利益や都合だけを考え、行動したり相手に要求したりする。

be self-seeking

楽で高い給料がもらえる仕事に就（つ）きたいとは、虫がいい。

「論文に名前だけ載（の）せてもらうなんていうのは、虫がよすぎるよ」

練習　〈82・83ページの答〉 ①見る目がある　②耳に入れ・耳に入る／耳にする

①人を助けようとして命を落とすなんて、家族の気持ちを思うと(　　　)。

□ 虫（むし）の居所（いどころ）が悪（わる）い　－　否定

機嫌（きげん）が悪くちょっとしたことで怒りやすいような状態。

be in a bad mood

今は「虫の居所が悪い」という理由で殺人事件が起きる時代だ。

「教授があんなに怒るなんて、よほど虫の居所が悪かったのよ」

□ 無（む）にする／無（む）になる　－　否定

相手の親切（しんせつ）や好意などを無駄（むだ）にする。／努力などが無駄になる。

let go to waste/come to nothing

親切からの行為（こうい）が、相手には伝わらなくて無になることも多い。

「ご好意を無にしては申し訳ないので、ありがたくちょうだいします」

□ 胸（むね）が痛（いた）む　－　気分

悲しみや心配でつらい気持ちになる。

one's heart aches

薬害を知りながら販売を続けた会社側は胸が痛まなかったのか。

「いじめって聞くと、私も昔、経験があるから胸が痛むの」

練習　②男性A：違うよ！ 綾子（あやこ）さんとは特別な関係じゃないよ！ 友達だよ！

男性B：そんなに(　　　)ところを見ると、ますます怪（あや）しいぞ。

□ 胸を打つ(むねをうつ) ＋

強く感動させる。心を打つ。

move, stir one's heart

子供の目を通して戦争を表現した映画は、多くの人の胸を打った。

「この小説、何回読んでも胸を打つわ」「泣いちゃうよね」

□ 胸を張る(むねをはる) ＋

自信をもって堂々(どうどう)としていること。

act proudly, do with confidence

胸を張って自分の国が好きだと言えることは素晴(すば)らしいことだ。

「優勝は逃(のが)したけど自分の実力は出せたし、胸を張って帰れます」

□ 目から鱗が落ちる(めからうろこがおちる) ＋

何かがきっかけになって、急に物事の真実や真の意味がわかるようになる。

be suddenly awakened to

留学生と接すると、発想の違いに目から鱗が落ちることがある。

「『て形』ねえ。日本人の僕には、目から鱗が落ちる思いだね」

練習 〈前ページの答〉 ①胸が痛む　②むきになる

① オリンピックの開会式では、選手は(　　　)て行進した。

□ 目が高い(めがたかい) ＋

よいものを見分ける力が優れている。

have an eye for, be a good judge of

泥棒(どろぼう)は目が高かったらしく、高価な物だけを盗んでいったそうだ。

「お客さま、お目が高いですね。ゴッホの初期の作品なんですよ」

□ 目がない(めがない) ① － 批判 ② ＋

①物事を判断したり評価したりする能力がない。
②物事がとても好き。

① be no judge of　② really love (something)

将来を見通す目がない者にとっては、これからの時代は苦しいだろう。

「医者に止められているんだが、甘い物には目がなくて……」

□ 目が離せない(めがはなせない) ±

何が起こるかわからず、いつも注意していなければならない。

can't take one's eyes off

株式市場は秒単位で動くから、一時(いっとき)も目が離せない。

「勉強しなきゃならないのに、サッカーから目が離せないよ」

練習 ② 学生A：昼ご飯、食べに行かない？
学生B：ごめん、この実験、しばらく(　　　)んだ。

□ 目が回る ① 土 ② ー 気分 ⊘

①目まいがする。 ②とても忙しい。
① be dizzy ② be extremely busy

地上 47 階の高層ビルから下を見ると目が回るようだ。
「年度末って決算で、毎年、目が回るような忙しさだよね」
注）年度：4月に始まり3月に終わる、民間・行政上の1年。

□ 目先を変える ＋

飽きさせないようにいつもと違うようにする。
change the usual way, make a novel change

常に目先を変えた商品開発をしないと客に飽きられる。
「明日のデート、たまには目先を変えて動物園にしない？」

□ 目と鼻の先 強

とても近い距離の所。
be very close

飛行機は、空港まで目と鼻の先だったが、悪天候のため引き返した。
「大学はアパートから目と鼻の先なのに、毎日遅刻しちゃうんだ」

練習 〈前ページの答〉 ①胸を張っ ②目が離せない
① 就職の(　　　)たので、国の家族を呼んで一緒に暮らそうと思います。

□ めどが立つ（めどが付く） ＋

予定や計画がこれからどうなるか、はっきりする。
be in sight, have an idea of

住民の反対に遭い、原子力発電所建設のめどは立っていない。
「卒論のめどが立たないと、卒業旅行の日程も決められないよ」

□ 目に余る ー 非難

許容範囲を超えていて黙っていられなくなる。
unpardonable, too much to bear

けんかや暴力など、電車の中での目に余る行動が増えてきた。
「このごろの丸井君の遅刻、目に余るものがあるよ」

□ 目に浮かぶ 土

目に見えるように頭の中に描かれる。
can imagine

新婚旅行先から届いたはがきに、幸せな二人の姿が目に浮かんだ。
「10 年ぶりの帰国ですか。再会を喜ぶご両親の姿が目に浮かびますね」

練習 ② 教授：ヤンさんの論文、賞を取ったそうだよ。
助手：本当ですか。早速本人に知らせます。喜ぶ顔が(　　　)ますよ。

□ 目に付く ±

目立って見える。よく見掛ける。
stand out, catch one's attention

最近、駅や公園で、楽器を演奏する若者グループが目に付く。
「電車の中で化粧する女性が目に付くけど、ちょっとね……」

□ 目の上のこぶ － 否定

活動する上で邪魔になる存在。
be a nuisance, stand in one's way

労働組合は経営者側にとって目の上のこぶだが、必要な存在だ。
「新しく来た西助手って優秀で、北先生の目の上のこぶだって」

□ 目を疑う ±

思いがけないものを見て見間違いではないかと思う。
can't believe one's eyes

温泉も、外国人にとって最初は目を疑う光景に違いない。
「日本人は乗り物の中でよく寝てますよね。初めは目を疑いました」

練習 〈前ページの答〉 ①めどが立つ／めどが付い ②目に浮かび
① テロの様子を伝えるニュースの画面に人々は自分の(　　　)た。

□ 目をつぶる －

問題があっても、その程度なら仕方がないとして取り上げずに見逃す。
overlook, condone

重なる首相の失言に、党も目をつぶるわけにいかなくなった。
「まあ、今回のミスには目をつぶるけど、以後、気をつけろよ」

□ 目を通す ±

一通り見る。ざっと見る。
skim over

新聞記者は、他社の新聞にも当然目を通す。
「日本語でスピーチするんだけど、原稿に目を通してくれない？」

□ 面倒を見る ＋

好意をもって世話をすること。
take care of (someone)

親の面倒を見るのは家族だが、制度面での支援も必要だ。
「ヤンさん、このゼミに留学生が二人入るから面倒を見てあげて」

練習 ② 学生：先生、先日提出した研究論文ですが……。
教師：ざっと(　　　)ておいたよ。なかなかよくできてるじゃないか。

□ ものの弾み（はず）　±

偶然。その場の勢い（いきお）。
by chance, on the spur of the moment

本人はものの弾みだったとしているが、つい本音が出たのだろう。
「コンパでデートに誘ったんだけど、ものの弾みだったんだ」

□ ものをいう　＋

力を十分に出して役に立つ。効果がある。
have an effect

感情が表情に表れることを「目は口ほどにものをいう」という。
「日本では会社名や肩書き（かたが）、出身校（しゅっしん）がものをいうんだよ」

□ 焼き餅を焼く（や もち や）　－　気分

ねたむ。嫉妬（しっと）する。
be jealous

下の子が生まれると上の子は焼き餅を焼くことが多い。
「妻が焼き餅を焼くほど、夫はもてないわよ」「……だといいけど」

練習　〈前ページの答〉①目を疑っ　②目を通し
①１回くらい負けたからって(　　　　　)ないで。チャンスはあるよ。

□ やけを起こす（お）　－　気分

思い通りにならなくて、どうでもいいと投げやりな気持ちになる。
abandon oneself to despair

火事の原因は、リストラされやけを起こした犯人の放火だった。
「１回や２回の失敗でやけを起こすなよ」

□ やぶ蛇（へび）　－　否定

余計なことをしてかえって悪い結果を招くこと。
stir up a hornet's nest

他国の紛争（ふんそう）に口を出すと、逆にやぶ蛇になることもある。
「先生に質問したら、昨日（きのう）欠席したのばれちゃった」「やぶ蛇ね」
注）ばれる：隠しておいたことを知られてしまう。

□ ヤマ場を迎える（ば むか）　±

最高潮の場面またはもっとも重大な段階になる。
reach the climax

選挙戦もヤマ場を迎え、街頭演説（がいとうえんぜつ）や宣伝（せんでん）カーなど各党とも必死だ。
「今年卒業？　じゃ、そろそろ卒論のヤマ場を迎えるころだね」

練習　②男性Ａ：(　　　　　)で言った僕のアイデアが採用されちゃったよ。
男性Ｂ：広告業界は新しさと珍しさが(　　　　　)世界だからね。

□ やむを得ず

− 否定

仕方なく。
be forced to, have no choice but to

雨のため、スポーツ大会はやむを得ず中止となった。
「今回は追跡調査までは無理だね」「時間がないからやむを得ずさ」
注）追跡調査：実験や調査をした後の状況を見るために行う調査。

□ 融通が利く

＋

状況に応じて物事を適当に処理できる。
flexible

「お役所仕事」は原則にとらわれて融通が利かないことが多い。
「今学期は履修科目が少なくて時間の融通が利くから、バイトするんだ」

□ 夢が覚める

±

現実に合った考え方をするようになる。
wake up to reality

学生も厳しい就職活動を目の当たりにして、夢が覚めたようだ。
「子供ができたときかな、夢が覚めて現実的になったのは」

練習 〈前ページの答〉①やけを起こさ　②ものの弾み・ものをいう
①女性：カレ、収入も学歴もバッチリ。（　　　　）もう少し背が高いと……。

□ 夢を見る

＋

空想にふける。理想などを思い描く。
dream

学生時代は夢を見、社会に出て現実を知る。
「宝くじで3億当てる？　何、夢を見てるのよ」

□ 要領がいい

自分の利益のために、効率よく物事を行う。
shrewd, be able to get things done

要領がいい人は仕事が速い。しかし、人生は要領だけではない。
「丸井さんって要領がいいわけじゃないけど、誠実よね」

□ 欲を言えば

±

今の程度で十分満足だが、さらに完璧を目指すための意見を述べる。
ask for a little more (regarding something good)

日本の車は性能がいいが、欲を言えば個性に欠ける。
「いい研究だね。欲を言えばもう少しサンプル数が欲しいね」

練習 ②学生A：今度の日本語会話クラス、先生、変わったんだって？
学生B：そう。田中先生が急に入院したから（　　　　）らしいよ。

□ 横になる　±

体を横たえて(一時的に)休む、寝る。
lie down, rest

横になる暇もないほど多忙で、過労で倒れてしまう人もいる。
「疲れているみたいよ。だれも来ないから、ちょっと横になったら」

□ 横道にそれる　－　否定

話が本来の目的や意図から外れ、別の話題に移ってしまう。
digress

話し合いが横道にそれないようにするのが議長の役目だ。
「西先生の講義ってすぐ横道にそれるけど、面白いよ」

□ 読みが深い　＋

①表面に表れていない意味までしっかりつかんでいる。
②先まで十分見通している。
① be very perceptive　② have keen insight

バブル崩壊の際は、分析力があり読みが深い投資家が生き残った。
「教授が窓見てるときはご機嫌 OK よ」「さすが秘書！　読みが深い」
注)バブル崩壊：1990 年代初めに日本経済が一気に悪化したこと。

練習　〈前ページの答〉 ①欲を言えば　②やむを得ず
① 国会は与党と野党の意見が対立して(　　　　)状態が続いている。

□ 弱音を吐く　－　気分

困ったことや苦労に耐えられないであきらめたり気の弱いことを言う。
whine, complain

いつもは強気の A 選手だが、今回の成績には弱音を吐いていた。
「このぐらいの練習で弱音を吐くようじゃ、やっていけないぞ」

□ ラストスパートをかける　±

物事の終わりが近づき、最後に大きな力を出してがんばること。
give a final burst of energy

12 月中旬、財務省では予算案作成にラストスパートをかける。
「ヤンさん、卒業試験、ラストスパートをかける時期だね」

□ らちが明かない　－　否定

期待通り物事が先へ進まず決まりがつかない。
not get anywhere

輸入問題に関する日米会議はらちが明かず、次回に持ち越された。
「君ではらちが明かない。責任者を呼びたまえ」

練習　② 学生 A：これ、絶対試験に出るよ。先生、説明を 2 度繰り返したもの。
学生 B：さすが、(　　　　)ね。じゃ、マーカー付けておこう。

□ 理解に苦しむ　[－] [批判]

訳がわからない。納得できない。
can't understand

最近、われわれ一般人には理解に苦しむ犯罪が増えている。
「最近の若い子のファッションって、時々理解に苦しむよ」

□ 臨機応変　[＋]

その場の状況に応じて柔軟に対応を変える。
as the occasion demands

サービス業では特に臨機応変に行動できる者が求められる。
「明日の会議、議長頼むよ。意見が割れそうだから臨機応変にね」

□ 笑い事ではない　[－] [否定]

笑って済まされる小さい問題ではない。
not be a laughing matter

いじめは笑い事ではない深刻な問題だ。遊びでは済まされない。
「うちの主人、お湯も沸かせないの。笑い事じゃないわよね」

練習 〈前ページの答〉 ①らちが明かない　②読みが深い
① 女性：一体、どうして？　あんな素敵なカレをふるなんて(　　　)わ。

□ 割り切る／割り切れない　[＋]／[－] [不満]

自分で自分を納得させる。／納得できなくて気持ちがすっきりしない。
can accept/can't accept

突然リストラを宣告された社員は割り切れない思いがあるだろう。
「バイトはつまんないけど、生活のためだって割り切ってるの」

□ 輪を掛ける　[±]

程度がもっと大きい様子。
be even more (so)

今年の株価は去年に輪を掛けて落ち込みそうだ。
「僕も飲めるほうだけど、森先生はそれに輪を掛けた大酒飲みだよ」

□ ワンクッション置く　[＋]

物事がうまくいくように、間に一段階入れる。
go through someone

事故の示談交渉はワンクッション置くために保険会社が代行する。
「直接言うよりワンクッション置いてだれかに言ってもらえば？」
注)示談：もめ事を裁判ではなく、話し合いで解決すること。

練習 ② 学生：就職難といっても、どんな仕事でもいいとは(　　　)よ。
〈本ページの答〉 ①理解に苦しむ　②割り切れない

COLUMN

この表現から日本人が見える！

本文全体の復習です

慣用表現から、日本人の道徳観、倫理観が表されているものを挙げてみましょう。

<日本人が嫌いな3つの「いい」>

① 調子がいい[p. 53]
② 虫がいい[p. 86]
③ 要領がいい[p. 97]

これらは、すべて「いい」がつきますが、実はそういう人に対しては「よくない」と思っているのです。そのほかに、口がうまい[p. 34]、図に乗る[p. 47]、抜け目がない[p. 63]なども、一見プラスの意味に思えますが、実際は人物を批判する表現です。「うまい」がつくから褒(ほ)めているとは考えないでくださいね。

ところで、日本人は相手を直接批判することはあまり好きではありません。それは、「おせっかいをやく[p. 22]のはやめよう」と思って相手を大目(おおめ)に見る[p. 21]ことが多いからです。意見を聞いたら言葉を濁して[p. 40]しまう人が多いのも、直接の批判を避けているからなのです。

あなたの国にも同じような表現がありますか。その表現はよく使われますか。その背景には、どんな人間観がありますか。

日本の社会は少しずつ変化しています。この表現の価値観も変わってくるかもしれませんね。

索引

あ

- □ 開いた口がふさがらない……12
- □ 足が棒になる／足を棒にする……12
- □ 味もそっけもない……12
- □ 頭が上がらない……13
- □ 頭が堅い……13
- □ 頭に入れる／頭に入る……13
- □ 頭にくる……14
- □ 頭を下げる／頭が下がる……14
- □ 頭を冷やす……14
- □ あっという間……15
- □ 当てが外れる……15
- □ 後味が悪い……15

い

- □ いい顔をしない……16
- □ 行き当たりばったり……16
- □ 息が切れる……16
- □ 息が詰まる……17
- □ 意地が悪い……17
- □ 意地になる……17
- □ 一か八か……18
- □ いても立ってもいられない……18
- □ 嫌というほど……18

う

- □ 上には上がある／上には上がいる…19
- □ 受けがいい／受けが悪い……19
- □ 裏目に出る……19
- □ うんともすんとも……20

え

- □ 縁がある／縁がない……20

お

- □ 多かれ少なかれ……20
- □ 大きなお世話……21
- □ 大きな顔をする……21
- □ 大目に見る……21
- □ おせっかいをやく……22
- □ 遅かれ早かれ……22
- □ おだてに乗る……22
- □ お手上げ……23
- □ 思いもよらない……23
- □ 親の脛をかじる……23

か

- □ 顔に出る……24
- □ 肩にかかる……24
- □ 肩の荷を下ろす／肩の荷が下りる…24
- □ 肩身が狭い……25
- □ 肩を落とす……25
- □ 肩をもつ……25
- □ かちんとくる……26
- □ 勝手が違う……26
- □ 柄にもない……26

き

- □ 気がある／気がない……27
- □ 気が重い……27
- □ 気が利く……27
- □ 気が気でない（気が気じゃない）……28
- □ 気が知れない……28
- □ 気が進まない……28
- □ 気が済む……29
- □ 気が小さい……29
- □ 気が強い／気が弱い……29
- □ 気が短い／気が長い……30
- □ 気が向く……30
- □ 機嫌が直る……30
- □ 機嫌を取る……31
- □ 気心が知れる……31
- □ 気に食わない……31
- □ 気にする……32
- □ 気になる……32
- □ 気のせい……32
- □ きまりが悪い……33
- □ 気味が悪い……33
- □ 決めてかかる……33
- □ 切りがない……34

く

- □ 口がうまい……34
- □ 口が重い……34
- □ 口が堅い……35
- □ 口が軽い……35
- □ 口がすべる……35
- □ 口を出す……36
- □ 食ってかかる……36
- □ 苦にする／苦になる……36
- □ 首をひねる……37
- □ 愚痴をこぼす……37

け

- □ 計算に入れる……37
- □ 見当をつける／見当がつく……38

こ

- □ 声を掛ける／声が掛かる……38
- □ 心に掛ける……38
- □ 心に残る……39
- □ 心を入れ替える……39
- □ 心を配る……39
- □ 腰が重い……40
- □ 事によると……40
- □ 言葉を濁す……40

さ

- □ 先が見える……41
- □ 先を越す……41
- □ 先を読む……41
- □ 察しがつく……42
- □ 鯖を読む……42
- □ 差をつける／差がつく……42

し

- □ 始末に負えない……43
- □ 性が合う……43
- □ 白ける……43
- □ 神経を使う……44
- □ 心臓が強い……44
- □ 時間の問題……44
- □ 時間を稼ぐ……45
- □ 時間を割く……45
- □ 地が出る……45
- □ 邪魔が入る……46
- □ 十人十色……46

す

- □ 涼しい顔……46
- □ 澄ました顔……47
- □ 隅に置けない……47
- □ 図に乗る……47

せ

- □ 世話が焼ける……50
- □ 世話を焼く……50
- □ 先手を打つ……50

そ

- □ そっぽを向く……51

た

- □ 玉にきず……51
- □ 大は小を兼ねる……51
- □ 駄目で元々……52

ち

- □ 知恵を絞る……52
- □ 力になる……52
- □ 力を入れる／力が入る……53
- □ 力を落とす……53
- □ 調子がいい……53
- □ 調子に乗る……54
- □ 調子を合わせる……54
- □ ちょっとやそっと……54

て

- □ 手が空く……55
- □ 手が出ない……55
- □ 手が離せない……55
- □ 手が回らない……56
- □ 手数を掛ける／手数が掛かる……56
- □ 手に入れる／手に入る……56
- □ 手に負えない……57

□ 手につかない …57
□ 手も足も出ない …57
□ 手を掛ける／手が掛かる …58
□ 手を貸す …58
□ 手を借りる …58
□ 手を出す …59
□ 手を抜く …59

と

□ 突拍子もない …59
□ どうにかこうにか …60
□ どっちもどっち …60

な

□ 長い目で見る …60
□ 何が何でも …61
□ 何かにつけて …61
□ 何から何まで …61

に

□ 煮え切らない …62
□ 荷が重い …62
□ 二の舞い …62
□ 二番煎じ …63

ぬ

□ 抜け目がない …63

ね

□ 熱がこもる …63
□ 熱が冷める …66
□ 寝耳に水 …66
□ 音を上げる …66
□ 念を押す …67

の

□ 喉から手が出る …67

は

□ 歯が立たない …67
□ 恥をかく …68
□ 鼻が高い …68
□ 話が合う …68
□ 話が弾む …69
□ 話にならない …69
□ 話の腰を折る …69
□ 鼻にかける …70
□ 鼻につく …70
□ 羽を伸ばす …70
□ 早い者勝ち …71
□ 腹を立てる／腹が立つ …71
□ ばかにする …71
□ ぱっとしない …72

ひ

□ 一息入れる …72
□ 人ごとではない …72
□ 人目を引く …73
□ 一人相撲を取る …73
□ 悲鳴を上げる …73
□ 冷や汗をかく …74
□ びくともしない …74
□ ピンからキリまで …74
□ ピントが外れる …75
□ ぴんとくる …75

ふ

□ ふいにする／ふいになる …75
□ 太く短く …76
□ 懐が温かい／懐が寒い …76
□ 踏んだり蹴ったり …76
□ ブレーキをかける …77

へ

□ へそを曲げる …77

ほ

□ 細く長く …77
□ 骨が折れる／骨を折る …78
□ 棒に振る …78

ま

□ 的を射る …78
□ 真に受ける …79

み

□ 見えを張る …79
□ 身が軽い …79
□ 右に出る者がない …80
□ 右へ倣え …80
□ 水と油 …80
□ 水の泡 …81
□ 身に染みる …81
□ 身につける／身につく …81
□ 耳が痛い …82
□ 耳に入れる／耳に入る …82
□ 耳にする …82
□ 耳を疑う …83
□ 脈がある …83
□ 見る目がある …83
□ 身を入れる …86

む

□ むきになる …86
□ 虫がいい …86
□ 虫の居所が悪い …87
□ 無にする／無になる …87
□ 胸が痛む …87
□ 胸を打つ …88
□ 胸を張る …88

め

□ 目から鱗が落ちる …88
□ 目が高い …89
□ 目がない …89
□ 目が離せない …89
□ 目が回る …90
□ 目先を変える …90
□ 目と鼻の先 …90
□ めどが立つ(めどが付く) …91
□ 目に余る …91
□ 目に浮かぶ …91
□ 目に付く …92
□ 目の上のこぶ …92
□ 目を疑う …92
□ 目をつぶる …93
□ 目を通す …93
□ 面倒を見る …93

も

□ ものの弾み …94
□ ものをいう …94

や

□ 焼き餅を焼く …94
□ やけを起こす …95
□ やぶ蛇 …95
□ ヤマ場を迎える …95
□ やむを得ず …96

ゆ

□ 融通が利く …96
□ 夢が覚める …96
□ 夢を見る …97

よ

□ 要領がいい …97
□ 欲を言えば …97
□ 横になる …98
□ 横道にそれる …98
□ 読みが深い …98
□ 弱音を吐く …99

ら

□ ラストスパートをかける …99
□ らちが明かない …99

り

□ 理解に苦しむ …100
□ 臨機応変 …100

わ

□ 笑い事ではない …100
□ 割り切る／割り切れない …101
□ 輪を掛ける …101
□ ワンクッション置く …101

《監修・執筆》
佐々木瑞枝（ささき　みずえ）
横浜国立大学留学生センター教授。著書に『日本事情入門』（アルク）、『アカデミック・ジャパニーズ対応　日本語パワーアップ総合問題集』（ジャパンタイムズ）、『女と男の日本語辞典』（東京堂出版）など。

《執　筆》
松田由美子（まつだ　ゆみこ）
新潟大学留学生センター非常勤講師
鈴木紀子（すずき　みちこ）
新潟市国際交流協会日本語講座非常勤講師

アカデミック・ジャパニーズ　日本語表現ハンドブックシリーズ⑦
Academic Japanese Japanese Expressions Handbook Series⑦

日常会話で使う**慣用表現**　英語訳つき

2002年4月20日　発行
監修・著者　佐々木瑞枝
著　　者　松田由美子・鈴木紀子
発 行 者　平本照麿
発 行 所　株式会社アルク
〒168-8611　東京都杉並区永福2-54-12
電話　03-3323-5514　（日本語出版編集部）
03-3327-1101　（カスタマーサービス部）
印 刷 所　図書印刷株式会社
装　　丁　株式会社イーストウエスト
翻　　訳　Jon McGovern
校　　正　坂本光世

地球人ネットワークを創る
株式会社アルク
http://www.alc.co.jp/